

ベトナム社会主義共和国  
通関電子化促進プロジェクト  
詳細計画策定調査報告書

平成 24 年 3 月  
(2012年)

独立行政法人国際協力機構  
産業開発・公共政策部

産 公
J R
12-089

**ベトナム社会主義共和国  
通関電子化促進プロジェクト  
詳細計画策定調査報告書**

平成 24 年 3 月  
(2012年)

**独立行政法人国際協力機構  
産業開発・公共政策部**

## 序 文

独立行政法人国際協力機構は、ベトナム社会主義共和国から日本政府に対して提出された要請に基づき、同国の通関電子化促進支援に係る情報を収集し、同国政府と協議を行うため、2012年2月に詳細計画策定調査団を現地に派遣しました。

調査団は、本無償資金協力要請に係る準備調査結果を踏まえつつ、同国政府関係者などと協議を行い、また税関行政に係る現状調査を行いました。

帰国後に資料を取りまとめ、ここに本報告書完成の運びとなりました。この報告書が今後の本プロジェクトの推進に寄与し、関係者の参考資料として活用されれば幸いです。

終わりに、調査にご協力とご支援を頂いた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成24年3月

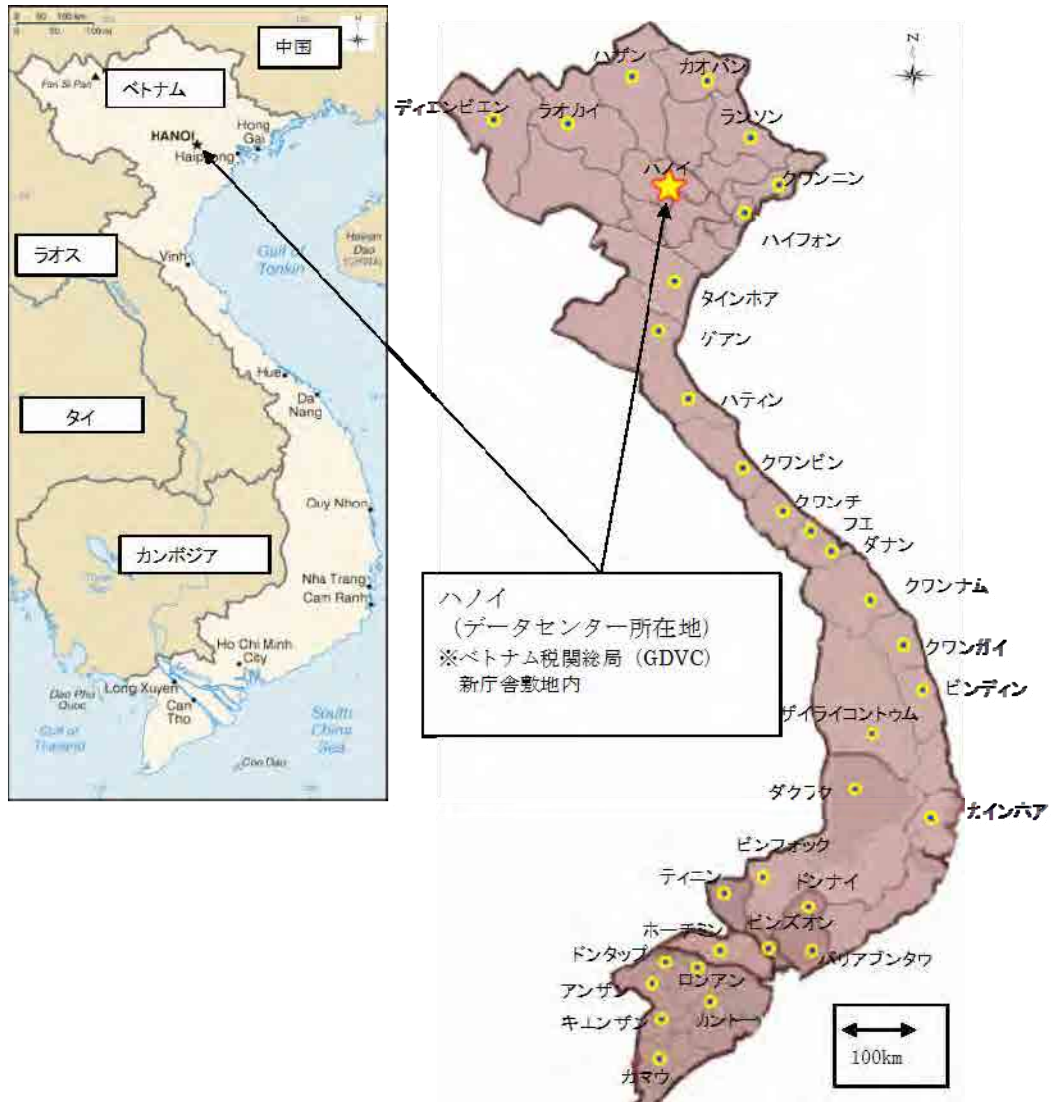
独立行政法人国際協力機構  
産業開発・公共政策部長 桑島 京子

# 目 次

序 文  
目 次  
地 図  
写 真  
略語表

第1章 調査実施の背景・目的	1
1-1 調査の背景	1
1-2 調査の目的	2
1-3 調査団の構成	2
1-4 調査日程	3
第2章 ベトナム税関の現状・課題と取り組み状況	4
2-1 ベトナム税関の現状・課題	4
2-2 ベトナム政府による通関情報技術（IT）システム構築を通じた 税関近代化への取り組み	5
2-3 ベトナム税関総局（GDVC）の実施体制	9
2-4 当該分野へのドナー支援とわが国の協力実績	13
第3章 事業事前評価結果	16
3-1 プロジェクトの概要	16
3-2 プロジェクト実施にあたってベトナム側と確認した留意事項	20
3-3 プロジェクトの評価	22
付属資料	
1. 事業事前評価表	29
2. 協議議事録（Minutes of Meeting）	37
3. プロジェクト・デザイン・マトリックス（Project Design Matrix）	57
4. 活動計画表（Plan of Operations）	59

# 地 図



導入拠点：GDVC（ハノイ）、全 33 管区税関及び 194 出張所  
 （上図では、GDVC 及び管区税関のみ表示）

写



写真 1 : GDVC 新庁舎建設現場標識 (完成予想図)。左奥がデータセンター棟 (5 階建)。

真 (既存状況)



写真 2 : GDVC 新庁舎事務棟建設現況 (2011 年 12 月 8 日撮影)。



写真 3 : データセンター棟建設現況 (2011 年 10 月 21 日撮影)。基礎工事段階。



写真 4 : データセンター棟建設現況 (2011 年 12 月 8 日撮影)。3 階部分まで建設進捗。



写真 5 : タンソンニャット国際空港税関輸入通関部門。輸出入申告の件数の増加に伴い、30 以上の窓口で対応している。



写真 6 : タンソンニャット国際空港税関輸入通関部門。税関審査を待つ申告者。



写真7：ドンダン税関（中国国境）。手書きの紙で申告及び税関審査が行われている。



写真8：ディンヴー港税関。計算機で申告書の税額計算チェックを行う税関職員。

## 略 語 表

略語	英 語	日本語
ADB	Asian Development Bank	アジア開発銀行
APEC	Asia Pacific Economic Cooperation	アジア太平洋経済協力会議
ASEAN	Association of Southeast Asian Nations	東南アジア諸国連合
B/D	Brief Design	基本設計書
CIS	Customs Intelligence Database System	通関情報総合判定システム
EDI	Electronic Data Interchange	電子データ交換
EPA	Economic Partnership Agreement	経済連携協定
GDP	Gross Domestic Product	国内総生産
GDVC	General Department of Vietnam Customs	ベトナム税関総局
HS	Harmonized Commodity Description and Coding System	国際統一商品分類（HS 分類）
ICT	Information and Communication Technology	情報通信技術
IMF	International Monetary Fund	国際通貨基金
IT	Information Technology	情報技術
JICA	Japan International Cooperation Agency	独立行政法人国際協力機構
LPI	Logistics Performance Index	ロジスティクス・パフォーマンス・インデックス
M/M	Minutes of Meeting	協議議事録
NACCS	Nippon Automated Cargo and Port Consolidated System	輸出入・港湾関連情報処理システム
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PO	Plan of Operations	活動計画
VND	Vietnam Dong	ベトナムドン
WCO	World Customs Organization	世界税関機構
WTO	World Trade Organization	世界貿易機関
WB	World Bank	世界銀行



# 第1章 調査実施の背景・目的

## 1-1 調査の背景

ベトナム社会主義共和国（以下、「ベトナム」と記す）は、1986年のドイモイ（刷新）政策導入以降、継続的に経済成長を達成してきており、2009年の実質国内総生産（Gross Domestic Product : GDP）成長率は5.3%、2010年は同6.7%と東南アジア地域のなかでも比較的高い成長を達成している。この背景には2007年1月の世界貿易機関（World Trade Organization : WTO）加盟以降、急速に伸びた外国直接投資が挙げられるが、これに比例し、輸出入量も年率10%を超える伸びをみせるなど飛躍的に増大している。また、東南アジア地域各国は、2010年10月28日にハノイで開催された第17回東南アジア諸国連合（Association of Southeast Asian Nations : ASEAN）首脳会議において、ASEAN域内における物理的、制度的及び人と人との連結性の強化を図る「ASEAN連結性マスタープラン」を採択するなど、2015年までのASEAN共同体実現のための取り組みを継続的に進めている。

なお、国境を跨いだ物流の円滑化・迅速化を通じた地域協力・地域統合の推進については、わが国政府としても、アジア諸国と日本のシームレスな物流の実現を目的とする「アジアカーゴハイウェイ構想」を貿易円滑化の共通目標としてアジア各国と共有し、その実現をめざすべく具体的な支援を展開してきている。2010年には、わが国は日本・ASEAN首脳会議やアジア太平洋経済協力会議（Asia Pacific Economic Cooperation : APEC）財務大臣会合の場で、域内の貿易円滑化を促進するためアジア開発銀行（Asian Development Bank : ADB）を通じた2,500万USドル規模の支援策を表明し、またJICAとわが国財務省関税局、ADB、世界税関機構（World Customs Organization : WCO）が一体となって、アジアの更なる貿易円滑化による連結性向上を迫り、支援対象国ごとの協力マトリクスを整理し、課題に応じた連携支援を進めているところである。

このような状況の下、ベトナムは、国際物流の著しい増大及び高度化に適切に対応し、自国の投資・ビジネス環境整備につなげるべく、2012年までのナショナル・シングル・ウィンドウ<sup>1</sup>実用化や通関手続きの簡素化・国際的調和化といった税関行政の近代化を強力に推進している。

こうした課題を解決するためにベトナム税関総局（General Department of Vietnam Customs : GDVC）は、「税関近代化5カ年計画」に基づき、必要な法・体制整備や人材育成等を行ってきたが、加えて通関手続きに係る包括的な情報技術（Information Technology : IT）システム構築も重要な戦略として位置づけている。この通関ITシステム構築のために、世界銀行（World Bank : WB）の税関近代化プロジェクトが2005年より開始されたが、活動の大幅な遅れにより、当初プロジェクト期限を前に所期の目的を達成しないまま終了してしまい、現在はGDVCが独自に開発した通関システムを活用するにとどまっており、ナショナル・シングル・ウィンドウ機能を含む包括的な通関ITシステム構築が急務の課題となっている。

かかる背景の下、GDVCは、わが国財務省関税局をはじめとする関係機関が使用している輸出入・港湾関連情報処理システム（Nippon Automated Cargo and Port Consolidated System : NACCS）及び通関情報総合判定システム（Customs Intelligence Database System : CIS）の技術的優位性にか

---

<sup>1</sup> ナショナル・シングル・ウィンドウとは、貨物の輸入手続や船舶・航空機の入出港手続に係る税関と関係省庁のシステムを相互に接続・連携することにより、1回の入力・送信ですべての手続きを行えるようにするもの。ASEAN諸国では、2012年までに各国でナショナル・シングル・ウィンドウを整備し、これを相互に結んだASEANシングル・ウィンドウの実現をめざしている。

んがみ、NACCS・CIS技術を活用したベトナムにおける通関ITシステム構築に関し、わが国に対する無償資金協力を2011年9月に要請した。

これを踏まえ、JICAは2011年10月に本要請に係る概略設計調査を実施し、協力内容や概算事業費の検討を行い、2012年2月の閣議で決定し、同年3月22日にベトナム政府との間で交換公文が署名された。

一方、システム導入にあたっては税関分野における既存の法規制や業務プロセスを見直すとともに、新システムについての関係者への周知・説明等、同システム導入に向けた周到な検討・準備が必要となるため、ベトナム政府は当該課題に対応するための体制づくりや人材育成に係る技術協力プロジェクトを要請し、わが国政府により実施採択となった。

### 1-2 調査の目的

通関ITシステム構築に係る無償資金協力準備調査結果を踏まえつつ、ベトナム税関行政をとりまく現状と課題を整理するとともに、本件協力にあたって評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）に沿って評価する。加えて、ベトナム側とともに、プロジェクトの詳細活動計画について協議・合意し、その内容を協議議事録（Minutes of Meeting：M/M）として取りまとめ、署名する。

### 1-3 調査団の構成

	氏名	担当分野	所属	期間
1	田中 資記	総括	JICA 産業開発・公共政策部	2/5～2/11
2	辻 研介	協力企画	JICA 産業開発・公共政策部 行財政・金融課	2/5～2/11
3	小嶋 道人	税関行政	財務省 関税局 参事官室	2/7～2/10
4	南沢 邦保	システム開発	財務省 関税局 総務課 事務管理室	2/7～2/10

※総括（団長）、協力企画団員については、本調査に先立って行われた通関ITシステム構築に係る無償資金協力準備調査「税関近代化のための通関電子化及びナショナル・シングル・ウィンドウ導入計画」の報告書案説明調査と連続で実施。

1-4 調査日程

	日付	曜日	行程 (JICA)	宿泊先
1	2/7	火	総括、協力企画団員は2/5に現地入りし、2/6、2/7とGDVCと別途協議 (税関行政団員、システム開発団員) 18:00 成田発 (VN3311) 22:25 ハノイ着	ハノイ
2	2/8	水	9:00 GDVCとの協議 (新規技術協力プロジェクト枠組み案、M/M案) 14:00 GDVCとの協議 (プロジェクト枠組み案、M/M案)	〃
3	2/9	木	9:00 GDVCとの協議 (プロジェクト枠組み案、M/M案) 14:00 GDVCとの協議 (プロジェクト枠組み案、M/M案)	〃
4	2/10	金	9:00 M/M署名 14:00 JICAベトナム事務所報告 15:00 大使館報告	〃
5	2/11	土	23:55 ハノイ発 (VN3310) 6:40 成田着	

## 第2章 ベトナム税関の現状・課題と取り組み状況

### 2-1 ベトナム税関の現状・課題

#### 2-1-1 ベトナムにおける国際貿易状況

ベトナムは、1986年のドイモイ（刷新）政策導入以降、市場経済化を進め、高い経済成長率を継続的に達成している。また、2007年1月のWTO加盟以降、対内直接投資の増大と相まって、国際貿易量が増加しているが、税関への輸出入申告件数の伸び率は経済成長率を大きく上回っており、この状態は今後も続くものと見込まれている。

表2-1 ベトナムの実質経済成長率及び国際貿易状況

年	実質経済成長率 (%)	輸出				輸入			
		金額 (100万US ドル)	伸率 (%)	申告件数 (1,000件)	伸率 (%)	金額 (100万US ドル)	伸率 (%)	申告件数 (1,000件)	伸率 (%)
2006	8.2	39,826	-	1,124	19.8	45,015	-	1,195	19.3
2007	8.5	48,561	21.9	1,385	23.2	62,682	39.2	1,356	13.5
2008	6.3	62,685	29.1	1,560	12.6	80,714	28.8	1,723	27.1
2009	5.3	57,096	-8.9	1,620	3.8	69,949	-13.3	1,892	9.8
2010	6.8	72,192	26.4	2,007	23.9	84,801	21.2	2,157	14.0
2011	5.8	-	-	2,159	7.6	-	-	2,356	9.2
2012	6.3	-	-	2,353	9.0	-	-	2,574	9.3
2013	6.8	-	-	2,607	10.8	-	-	2,806	9.0
2014	7.2	-	-	2,780	6.6	-	-	3,014	7.4

注：イタリックは予測値。

出典：国際通貨基金（International Monetary Fund：IMF）（実質経済成長率）、WTO（輸出入金額）、GDVC（輸出入申告件数）

#### 2-1-2 ベトナムにおける通関業務面の課題

##### (1) 通関手続きの効率性

世界銀行が隔年公表しているロジスティクス・パフォーマンス・インデックス（Logistics Performance Index：LPI）において、各国の通関手続きの効率性の評価値が示されているが、2010年版のベトナムの評価値は2.68であり、ASEAN内先進諸国であるシンガポール（4.02）、マレーシア（3.11）、タイ（3.02）とは差が見られる。

##### (2) 通関業務及び手続き上の現状と課題

2011年に実施されたJICA調査「メコン地域における物流促進のための通関業務の改善に係る調査」によると、ベトナムにおける通関業務及び手続き上の問題として、一般的には以下の点が課題として指摘されている。

- 1) ベトナムにおいては、ベトナム関税法（No.29/2001/QH10）（2001年6月29日）により税関手続きが行われているが、本法律には改正前後の京都規約の規定の多くを含んでいない、また、同法はWTO規則にも準拠しておらず、実施規定の効力が弱いという点が世界銀行、ADBの調査報告でも指摘されている。そのため、ベトナム政府は税関手続き近代

化のため関税法の条項の改正や追加等の変更がなされてきているが、同国関税関連法が国際的な枠組みに準拠するようになるには、①評価・関税分類・原産地、②通関業者の業務知識、③より広範囲な執行権限、④電子商取引、⑤リスク管理、⑥事後調査、に関する条項について更に整理する必要がある。

2) ベトナムは関税評価については、関税評価に関するWTO協定（Agreement on Customs Valuation: ACV）を適用しており、特に取引価格を主要な方法として採用している。GDVCは、ACVを適用することの利点として、①客観性と透明性、②企業責任の向上、③リスクマネジメント、④物理検査の削減、⑤通関の一層の迅速化、を挙げている。同時に、ACV適用過程における誤評価、虚偽申告、歳入現象等もあり得ることから、①疑義のある伝票を検査するための適性価格データベースの整備、②事後調査の適用等を今後の課題として認識している。

3) GDVCは、税関検査においてグリーン、イエロー、レッドの3段階の判定基準を有しリスクマネジメントを実施している。これら分類は、①通関法、輸出入関税に関する法律、その他関連法規制、②リスクマネジメント・システムの結果、③通関手続きのプロセスにおいて得られるその他の情報、によってなされているが、税関職員の裁量によって検査レベルが変更される可能性があるうえ、リスクマネジメント・システム（データベース）の精緻化が課題となっている。

4) ASEANイニシアティブの下でナショナル・シングル・ウィンドウ計画を推進している。「ベトナム決定No.2599/QD-BCDSW」（2009年10月21日）に基づいて、ASEANシングル・ウィンドウに関する運営委員会が設立されたが、関連省庁間のITシステムの互換性、政府部門と民間部門の情報共有メカニズム構築等の課題に直面している。

5) また、ベトナムの通関業務において民間企業から指摘の受けた問題点は以下のとおり。

- 関税分類の見解が税関職員の間で統一されていない。
- 2008年から導入されている電子通関（e-Customs）の通関申告時の利用が限定的であり、許可通知も電子データ交換（Electronic Data Interchange: EDI）ではなくハードコピーで実施されている。
- 通関手続きには必ず署名原本と社印のある通関書類の提出が要求される。
- 通関申告過程で金銭が要求されることがあり、物流コストが割高となる。

### (3) 電子通関に係る現状と課題

ベトナムにおいては、2010年12月時点で、独自開発による電子通関のためのシステムが全33管区税関のうち13管区税関に導入されているものの、電子通関手続きの利用は、申告件数の10%、輸出入申告額の23%、徴収税額の16%、申告企業の6%にとどまっている。また、申告処理時間の短縮という通関手続きの電子化に期待される効果も利用者に実感されていない状況にある。なお、また、現在のシステムは、ナショナル・シングル・ウィンドウ機能を有していない。

## 2-2 ベトナム政府による通関情報技術（IT）システム構築を通じた税関近代化への取り組み

### 2-2-1 開発計画

ベトナムにおいては、これまでも税関の近代化に関する種々の計画が策定されているが、財

務大臣からの提議を受けて2011年3月25日に首相決定がなされた「2020年までの税関近代化戦略」(No. 448/QD-TTg)においては、IT技術に基づき、リスクマネジメント手法を広く適用した、国際慣行と調和した透明で簡素な税関手続きを実現した、ASEAN内先進諸国と同等の近代的な税関を構築することが全体目標とされている。

GDVCでは、同戦略の下、法制度及び業務プロセスの見直し並びにこれらに対応したITシステムの導入を通じた税関の近代化に取り組んでおり、わが国で使用されているNACCS及びCISの技術を活用した通関ITシステム（以下、「VNACCS・VCIS」と記す）の構築を目的とした無償資金協力を、当該取り組みの中核に位置づけている。

## 2-2-2 無償資金協力「税関近代化のための通関電子化及びナショナル・シングル・ウィンドウ導入計画」の概要

### (1) 無償資金協力の概要

#### 1) 無償資金協力の上位目標とプロジェクト目標

本無償資金協力は、ベトナムにおいて、通関手続きが迅速化されるとともに適切な取り締まりが行われることを上位目標とするものであり、ベトナムにおいて、NACCS・CIS技術を活用した通関ITシステムであるVNACCS・VCISの構築を通じて、ナショナル・シングル・ウィンドウの導入を含む税関行政の近代化が図られることをプロジェクト目標とする。

#### 2) 無償資金協力の内容

本無償資金協力は、NACCS技術を活用した電子通関とナショナル・シングル・ウィンドウを可能とするためのソフトウェアの開発及びCIS技術の通関業務に係る基本機能を活用した税関情報システムに係るソフトウェアの開発を行うこととしており、これによりベトナムにおいて、①VNACCS・VCISが構築されること、②VNACCS・VCISが稼働するための機材環境が整備されること、が期待されている。本無償資金協力の主な要素は以下のとおり。

表 2-2 無償資金協力の主な要素

(1) VNACCS・VCISソフトウェア開発	
1)	電子申告 (e-Declaration) : 本モジュールは、税関当局及び国際貿易 (輸入、輸出、トランジット等) 関係者が貨物の通関及び引き取りに係る法令及び手続きに従うことを支援するほか、ベトナムのナショナル・シングル・ウィンドウのASEANシングル・ウィンドウへの接続に資する。
2)	電子積荷目録 (e-Manifest) : 本モジュールは、税関当局及び国際輸送関係者が貨物の通関及び引き取りに係る法令及び手続きに従うことを支援する。
3)	電子インボイス (e-Invoice) : 本モジュールは、国際貿易関係者が電子商業インボイスを貨物の通関及び引き取りに利用することを支援する。
4)	審査選定処理 (Selectivity) : 本モジュールは、税関当局がリスク情報/リスク判定基準を基に審査・検査 (即時許可/書類審査/現物検査) に関する決定を行うことを支援する
5)	電子納税 (e-Payment) : 本モジュールは、税関当局及び国際貿易関係者が関係諸税の電子納付を利用することを支援するとともに、税関当局による

	関税等の納付管理を支援する。
6)	電子原産地証明書（e-C/O）：本モジュールは、税関当局及び国際貿易関係者が電子原産地証明書を利用することを支援する。
7)	審査基準管理（Risk profile / risk criteria management）：本モジュールは、税関当局が貨物の通関及び引き取りに関する審査基準管理やコンプライアンス管理を行うことを支援する。
8)	輸出入者管理（Importer / exporter management）：本モジュールは、税関当局が輸入者/輸出者/通関業者/システム利用者を全国規模で管理することを支援する。
9)	貨物の通関及び引き取り：本モジュールは、税関当局が貨物の通関及び引き取りに関する決定を行うことを支援する。
10)	監督及び管理：本モジュールは、システム管理者や権限を付与された者がシステムの利用・アクセスの監督及び管理を行うことを支援する。
11)	システムテスト/開通テスト、税関当局のシステム利用者への研修、技術支援及びシステムメンテナンス
(2)	VNACCS・VCIS用ハードウェア調達
	上記ソフトウェアの稼働に必要なハードウェア、OS、ミドルウェア、関連機器の調達

## (2) 無償資金協力実施により期待される効果

2011年に実施されたJICA協力準備調査「ベトナム税関近代化のための通関電子化及びナショナル・シングル・ウィンドウ導入計画準備調査」によると、本無償資金協力の実施により期待される効果は以下のとおり。

### 1) 定量的効果

わが国のNACCS・CISの技術を活用した利便性及び効率性に優れた通関ITシステムであるVNACCS・VCISがベトナムに導入されることから、同国において電子化された通関手続きの利用が促進されることを通じて、輸出入貨物の通関手続きにかかる時間が短縮されることとなる。

この通関手続きにかかる時間の短縮効果については、通関所要時間を調査することにより定量的に測定することが可能である。

表 2 - 3 定量的効果指標

効果	指標名	基準値	目標値
通関手続き 時間の短縮	平均通関所要時間（簡易審査）	15分（2010年）	3分（2017年）
	平均通関所要時間（書類審査）	60分（2010年）	15分（2017年）

### 2) 定性的効果

わが国のNACCS・CISの技術を活用した利便性及び効率性に優れた通関ITシステムであるVNACCS・VCISがベトナムに導入されることから、同国において電子化された通関手続きの利用が促進されることを通じて、電子申告による申告件数や申告金額が増加することとなる。

また、個々の職員による恣意的取り扱いの機会が減少することと相まって、同国にお

ける通関手続き全般の効率性が改善されることとなる。

なお、通関手続きの効率性の改善については、民間利用者の主観的評価による部分が多く、本来的に定性的な効果指標と考えられるが、世界銀行が隔年公表しているLPIにおいて、各国の通関手続きの効率性に関する評価値が示されていることから、同評価値を参考指標として定量的に効果を把握することも可能である。

表 2-4 定性的効果指標（参考指標）

効果	指標名	基準値	目標値
通関手続きの効率性の改善	LPI（通関手続きの効率性）	2.68（2010年）	3.00（2016年） 3.20（2020年）

また、本システム導入及びそれに伴うベトナムの税関手続き関連規定の変更により、以下の改善も期待される。

- 税関に対して行われた輸出入申告が要件を充足しているか否かの判断は、添付書類を確認することなく、VNACCS・VCISで自動的に行われることとなることから、税関職員の事務負担が軽減するとともに、申告処理時間の短縮を通じて物流の迅速化が図られることとなる。
- VNACCS・VCISで受理された申告については、直ちに審査区分が判定され、簡易審査となった申告については即時に許可されることとなることから、更に物流の迅速化が図られることとなる。
- ベトナムでは輸出入申告に際して手数料の納付が義務づけられているが、VNACCS・VCISにより当該手数料の予納制化及び予納手数料の自動引き落としが可能となることから、電子申告により審査区分が簡易審査となった申告貨物の迅速通関が、手数料納付のマニュアル処理手続きによって妨げられるということがなくなることとなる。
- VNACCS・VCISにより輸出入申告を行う場合、所要情報を入力すれば税額が自動的に計算されることとなることから、申告者の負担軽減及び誤申告の減少が図られることとなる。
- 輸出入申告がVNACCS・VCISにおいて受理されたあとは、税関が認めない限り当該申告の撤回を行えなくなることから、審査区分が簡易審査以外となった場合に申告を撤回して簡易審査となるまで申告を繰り返すといった、システムを利用した不正行為の防止が図られることとなる。
- VNACCS・VCISは保税運送に係る担保管理機能及び運送先への未着情報照会機能を有するものとなることから、保税運送に係る担保制度の導入と相まって、保税運送制度の悪用が防止され、貿易秩序の維持及び歳入の確保が図られることとなる。
- VNACCS・VCISにおいては、加工地区への搬入を行おうとする貨物について移入承認申請と併せて保税運送申告を行うこと並びに輸出しようとする貨物について輸出申告と併せて保税運送申告を行うことが可能となることから、当該併せ申告制度の導入と相まって、申告者の負担軽減が図られることとなる。



## 2-3 ベトナム税関総局（GDVC）の実施体制

### 2-3-1 組織・人員

本プロジェクトの実施に係るベトナム側の主管官庁は、無償資金協力と同様財務省であり、財務省の外局に位置づけられるGDVCが実施機関である。財務省及びGDVCの組織図は、それぞれ図2-1及び図2-2に示すとおりである。GDVCの総職員数は、約1万500人であり、中央組織が約1,400人、地方組織が約9,100人となっている。

GDVCにおいて、無償資金協力及び本プロジェクトについては、副総局長を長とした組織横断的な作業チームが主担となっており、税関近代化・改革委員会（職員数61人）がその事務局的機能（全体調整）を行っている。同委員会は、上記協力準備調査を実施する過程で、わが国財務省関税局の協力の下で基本設計書（Brief Design : B/D）を取りまとめるにあたり、中核的役割を果たしている。

また、わが国との連絡調整窓口は、国際協力局（職員数35人）があたっている。同局は、これまでもわが国のGDVC向け援助の窓口として、円滑な連絡調査を行ってきた。

なお、VNACCS・VCIS導入後の運用・維持管理は、税関情報技術・統計局（職員数91人）が担当することとなっている。GDVCでは、既に複数のITシステムを業務上活用しており、その運用・維持管理は同局が担っているところ、同局はITシステムの運用・維持管理に係る相応の経験・ノウハウを有している。



図 2 - 1 ベトナム財務省組織図

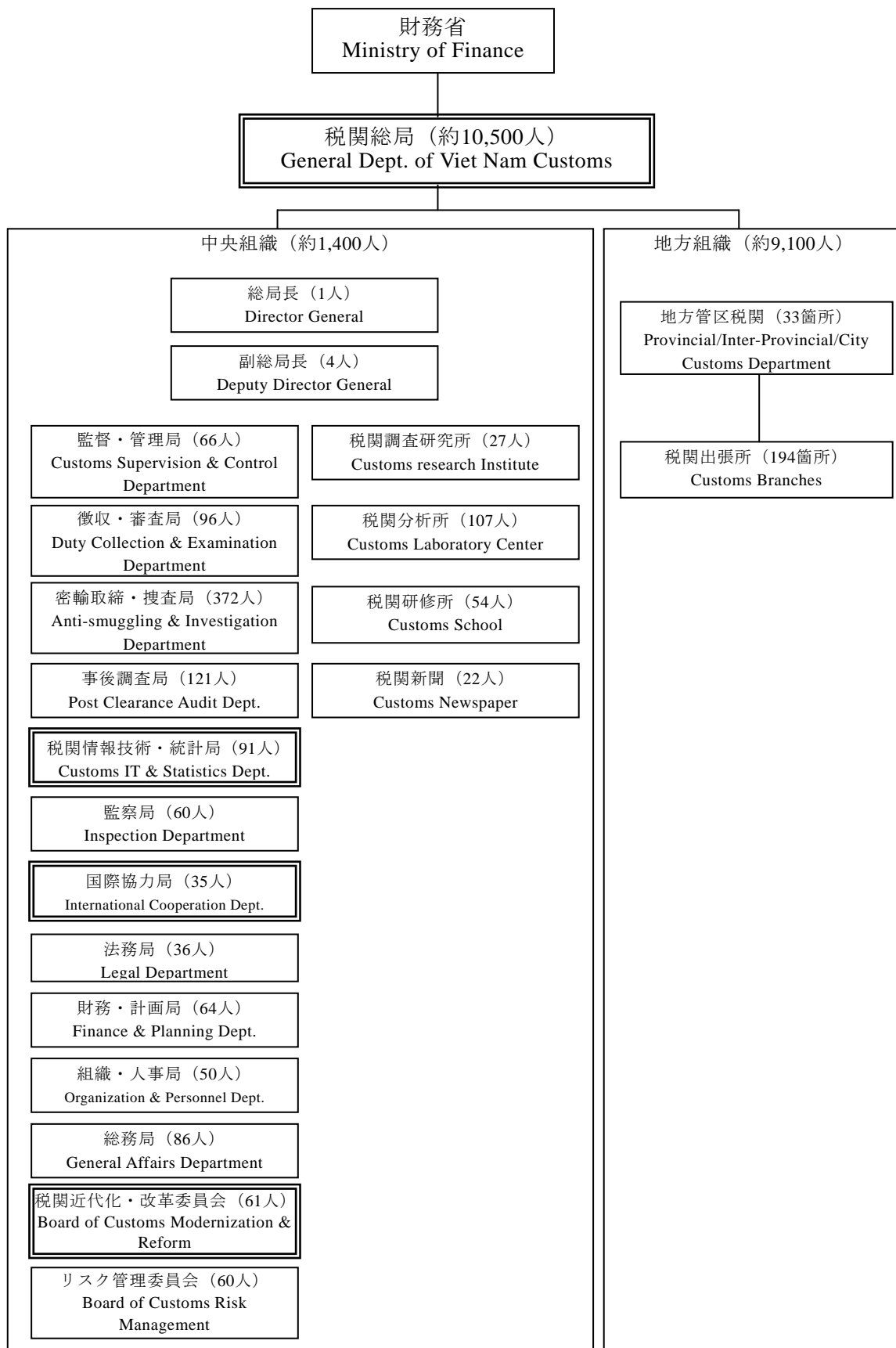


図 2 - 2 GDVC組織図

## 2-3-2 財政・予算

GDVCの近年の予算額及び執行状況は、表2-5に示すとおりである。

表 2-5 GDVC予算額及び執行状況

(上段：予算額、下段：執行額) [単位：10億ベトナムドン (Vietnam Dong : VND)]

年	2008	2009	2010	2011
GDVC	1,633	2,031	1,667	2,611
	1,563	2,046	1,516	-
うち税関情報技術費予算	63	150	176	235
	112	40	105	-

出典：GDVC

なお、2012～2015年のGDVCの予算については、当該年のGDVC徴収目標額の1.9%とされているところ、2012年のGDVC予算額は、同年の徴収目標額が223兆9,000億VNDとされていることから、4兆2,000億VNDとなる。また、近年の徴収目標額の推移（表2-6参照）から想定される2015年までの予算額は、表2-7に示すとおりである。

表 2-6 近年のGDVC徴収額

(単位：10億VND)

年	2008	2009	2010	2011	2012
目標額	84,000.5	121,200.0	131,500.0	180,700.0	223,900.0
実績額	125,517.5	143,765.0	181,487.0	205,000.0*	-

\*2011年10月現在

出典：GDVC

表 2-7 GDVC予算額推計

(単位：10億VND)

年	2012	2013	2014	2015
GDVC予算額	4,254	5,232	6,435	7,916
うち税関情報技術費予算	383	471	579	712

(注) 2013～2015年の予算額は、前年予算額に徴収目標額の過去3年間の平均増加率(23.2%)を乗じて算出。

また、2012～2015年の税関情報技術費予算は、2011年におけるGDVC全体予算に占める同予算の割合(9.0%)が維持されるものとして計上。

2012年度のGDVC予算額は前年比+63%、1兆6,000億VND(約60億円)の増額となる。また、税関情報技術費予算についても前年比+63%、1,480億VND(約5.6億円)の増額が見込まれる。ベトナムにおいては、今後も国際貿易の増加が見込まれる。

## 2-3-3 技術水準

GDVCでは、既に複数のITシステムを業務上活用しており、その運用・維持管理は税関情報技術・統計局が担ってきている。VNACCS・VCISも、税関の業務処理に係るITシステムの1つとして、同局がこれまで培ってきた経験・ノウハウを生かしつつ、運用・維持管理を担当すること

となる。また、地方税関においても相当数の職員がITシステムを利用した業務を経験している。なお、GDVCにおいては、組織・人事局が職員の研修計画案を策定し、税関研修所が職員研修を実施する体制が整備されているほか、職務上必要とされる専門性を有した人材の採用も行われている。上記の採用及び職員研修を通じたGDVCの自助努力にかんがみ、本プロジェクトにおいて実施体制が整備されるVNACCS・VCISの円滑な運用及び効果的な活用の実現を図る素地はできていると判断される。

## 2-4 当該分野へのドナー支援とわが国の協力実績

### 2-4-1 他ドナーの援助動向

他ドナーのベトナムに対する税関分野での援助動向は、表2-8のとおり。

表2-8 他ドナーの対ベトナム援助動向

機関名	世界銀行 (World Bank)
プロジェクト名	税関近代化計画 (Customs Modernization Project)
期 間	2005年11月10日 (承認) ~ 2011年6月30日 (終了)
プロジェクト目標	税関当局の実効性、効率性、説明責任、透明性の改善を通じた、貿易の促進、歳入徴収額の増加、外国貿易統計作成の改善、コミュニティ保護及び国家安全保障の強化
コンポーネント	①税関制度・手続き、②組織再編・管理、③情報通信技術、④プロジェクト実施支援
機関名	米国国際開発庁 (USAID) (ADVANCE Program)
プロジェクト名	ナショナル・シングル・ウィンドウ実施のための法的枠組みに係るギャップ分析 (Gap analysis on legal frame for implementation of National Single Window)
期 間	2010年4月7日~2011年2月 (終了)
プロジェクト目標	ベトナムに対し、ベトナムにおけるナショナル・シングル・ウィンドウ実施にあたっての法令・規則に係る課題の特定について技術支援を提供すること

### 2-4-2 わが国の協力実績

#### (1) 技術協力プロジェクト及び個別専門家派遣

わが国のベトナムに対する税関分野での技術協力プロジェクト及び個別専門家派遣の状況は、表2-9のとおりである。

表2-9 わが国の対ベトナム技術協力プロジェクト及び個別専門家派遣

協力形態	実施年度	案件名	概要
技術協力プロジェクト	2004～2007	税関行政近代化のための指導員養成プロジェクト	WTO加盟に向け、「関税評価」「事後調査」「国際統一商品分類（HS分類）（Harmonized Commodity Description and Coding System: HS）（含む分析）」分野において、国際標準に準拠した実務研修を行う指導員を育成する。
個別専門家派遣	2007～2009	税関業務改善	税関手続きの簡素・調和化、透明性の向上等の税関行政全般について、指導を通して税関業務に携わる行政官の能力向上を図る。
技術協力プロジェクト	2007～2010	メコン地域における税関リスクマネジメント・プロジェクト	ベトナム（及びカンボジア、タイ）の税関が、国際基準に合致した税関リスクマネジメントを効率的、効果的に実施する能力を獲得することを図る。
技術協力プロジェクト	2009～2012	税関行政官能力向上のための研修制度強化プロジェクト	貿易円滑化につながる税関サービス利用者との連携強化も図りつつ、国際標準に沿った税関行政近代化に対応した人材育成体制を強化する。

(2) 無償資金協力

わが国のベトナムに対する税関分野での無償資金協力の状況は、表2-10のとおりである。

表2-10 わが国の対ベトナム無償資金協力

協力形態	実施年度	案件名	金額（億円）	概要
無償資金協力	2008	ホーチミン市タンカンカトライ港 税関機能強化計画	8.67	ベトナム最大のホーチミン市タンカンカトライ港に大型X線貨物検査機材及び関連施設を整備するもの。
無償資金協力	2009	ハイフォン港 税関機能強化計画	8.61	ベトナム北部最大のコンテナ取扱量を誇るハイフォン港にコンテナ貨物検査用の大型X線貨物検査機材及び関連施設を導入するもの。
無償資金協力	2011	税関近代化のための通関電子化及びナショナル・シングル・ウィンドウ導入計画	26.61	ベトナム貿易量の増加に伴い、通関電子化及びナショナル・シングル・ウィンドウの導入を図るもの。

- (3) 有償資金協力  
関連案件なし。

## 第3章 事業事前評価結果

### 3-1 プロジェクトの概要

本事業は、VNCCS・VCIS導入にあたって、法規程の整備及びGDVCの人材育成や体制整備を行うことにより、当該システムの円滑な運用維持管理を図り、もって通関手続きの迅速化・効率化に寄与するものである。

協力概要は以下のとおり。

#### 3-1-1 協力概要

##### 【上位目標】

ベトナムにおける貿易円滑化が進展する。

(指標・目標値)

1. 通関所要時間が簡易審査で3分（申告から許可まで）、書類審査で15分（書類審査開始から書類審査終了まで）になる。
2. 貿易手続きの効率化指標<sup>2</sup>が改善する。
3. 複数の省庁がシングル・ウィンドウに参加する。

##### 【プロジェクト目標】

VNACCS・VCISが円滑に稼働・維持管理されるための環境が整備される。

(指標・目標値)

1. 輸出入申告件数のうちVNACCSを通じた申告件数の割合がX%になる。
2. 税関当局に対する税関手続き処理に係るクレームが減少する。
3. VNACCS・VCISが適切に維持管理され、目標の稼働率99.9%が達成される。

(説明)

2014年3月に導入が予定されているVNACCS・VCISが滞りなく稼働・利用されている状態が維持されるよう、法規程・業務プロセス・人員体制等が整備されている状態を目標とする。VNACCS・VCIS導入過程で利用者の利用促進を図り、彼らがVNACCSを通じた通関申告を行うことで、通関の迅速化及び透明性の向上が図られる。

なお、本プロジェクト目標を達成するために構成された以下の成果・活動については、プロジェクト後の持続性を確保するため、原則ベトナム側カウンターパートが組成するワーキング・グループ（WG）が主体的に実施し、日本側専門家等は助言・情報提供等を通じて側面支援を行う。

##### 【成果1】

VNACCS・VCISの利用に対応した必要な法規程が整備される。

<sup>2</sup> 世界銀行が隔年公表しており、各国の通関手続きの効率性に関する評価値が示されているLPIを活用する。



(指標・目標値)

1-1 必要十分な法規程が制定される。

(活動)

1-1 制度・通関業務プロセス変更に伴って改訂が必要な関係法令・通達等を特定する。

1-2 関係法令・通達等の改訂案を作成する。

1-3 改訂案を関係機関に説明する。

(説明)

VNACCS・VCIS導入となった場合には、利用者は原則電子申告が行えるようになり、また税額の計算や徴収が自動で行われる等のメリットがある。一方で、これらの手続きを可能にするためには、既存のベトナムの関連法規程では対応できない点を修正していく必要がある。そのため、VNACCS・VCIS導入に伴って改正が必要な法規程を特定したうえで、その改訂案を作成し、しかるべき機関・部署での承認をめざす。

## 【成果2】

通関担当職員がVNACCS・VCISを適切に利用するために必要な知識・スキルを獲得する。

(指標・目標値)

2-1 VNACCS・VCIS利用に係る説明会受講者数が通関担当職員のX%になる。

2-2 通関担当職員向け業務処理ガイドラインが作成される。

(活動)

2-1 詳細設計段階、詳細設計確定段階、試験段階等各段階における通関担当職員向け説明資料を作成する。

2-2 通関担当職員に対して説明を行う講師を育成する。

2-3 詳細設計段階、詳細設計確定段階、試験段階等各段階における通関担当職員向け説明会を実施する。

2-4 VNACCS・VCISのスムーズな導入に向け地方税関署を含む幹部職員に対して説明・理解醸成を行う。

2-5 通関担当職員向けの業務処理ガイドラインを作成する。

(説明)

VNACCS・VCISが導入後に適切に利用されるためには、申告を受け付けVNACCS・VCISを処理する担当官のシステムに対する十分な習熟が欠かせない。

また当該システムは、ベトナム通関担当職員にとって全く新しいシステムであり、また業務プロセスの変更も生じるものであるため、導入してすぐ利用が可能となるよう周到な準備作業が必要となる。

そのため、本成果においては、詳細設計段階から累次にわたり関係者に対して説明・理解促進のための活動を実施し、担当職員に十分な理解と習熟を促す。

また、導入されたあとにこれら担当職員が業務を円滑に行えるよう、システムの操作仕様と取り扱いを定めた業務処理ガイドラインを整備していく予定。

### 【成果3】

VNACCS・VCISを適切に運用・維持管理するための体制が整備され、必要な人材<sup>3</sup>が育成される。

#### (指標・目標値)

- 3-1 VNACCS・VCIS導入に向けた関係省庁との協議回数。
- 3-2 VNACCS利用者向けヘルプデスクが整備される。
- 3-3 システム運営・問題処理に係るマニュアル等が整備される。
- 3-4 システムエラーの発生・対応件数。

#### (活動)

- 3-1 ベトナムの税関手続き・制度の変更を踏まえつつ、システム詳細設計を審査する。
- 3-2 シングル・ウィンドウ導入に向けた工程表案を作成する。
- 3-3 シングル・ウィンドウ導入に向け、関係省庁と協議する。
- 3-4 VNACCS・VCIS運用・維持管理担当職員を育成する。
- 3-5 利用者向けヘルプデスクや運用要員等の体制を整備する。
- 3-6 運転試験を適切に行うための計画策定・実施体制の整備を行う。
- 3-7 システムの適切な運用・維持管理・更新のための問題把握・処理体制を整備する。
- 3-8 VNACCS・VCISの適切な運用・維持管理のための、運用・維持管理ベンダーを調達する。
- 3-9 システム稼働後の問合せや問題処理に対応する。
- 3-10 2020年に向けた税関分野のIT活用に係る適切なマスタープランを作成する。

#### (説明)

VNACCS・VCISについては、その導入後の運転・保守については開発ベンダーに対して別途GDVCが委託することが想定されているが、本システムの企画・運営を所管している当局としても、しかるべき人員体制の下エラー有無のモニタリングや一次対応、官民の利用者からの照会への対応等、ヘルプデスクとしての機能の定着が必要となる。

そのため、本成果・活動において、GDVCにおける体制整備・人材育成を図る。

加えて、ベトナム側の要請に基づき、将来の本格的な稼働が期待されるシングル・ウィンドウに向けた準備活動及び、中長期的なVNACCS・VCISの運用・展開計画に係る助言も行う。

---

<sup>3</sup> 主な対象は税関情報技術・統計局職員。

#### 【成果4】

民間利用者<sup>4</sup>がVNACCSを適切に利用するために必要な知識・スキルを獲得する。

(指標・目標値)

- 4-1 VNACCS導入に係る説明に参加した民間利用者がX社、X名になる。
- 4-2 VNACCSの概要及び利用方法を理解する民間利用者の割合がX%になる。
- 4-3 民間利用者向け業務処理マニュアルが作成される。

(活動)

- 4-1 詳細設計段階、詳細設計確定段階、試験段階等各段階における民間利用者・銀行向け説明会資料を作成する。
- 4-2 詳細設計段階、詳細設計確定段階、試験段階等各段階における民間利用者・銀行向け説明会を実施する。
- 4-3 民間利用者向けの業務処理マニュアルを作成する。

(説明)

VNACCS・VCISが導入後に適切に利用されるためには、当局担当だけでなく、電子申告を行う民間利用者のシステムに対する十分な習熟が欠かせない。

また当該システムは、民間利用者にとって全く新しいシステムであり、また業務プロセスの変更も生じるものであるため、導入してすぐ利用が可能となるよう周到な準備作業が必要となる。

そのため、本成果においては、詳細設計段階から累次にわたり関係者に対して説明・理解促進のための活動を実施し、民間利用予定者に十分な理解と習熟を促す。

また、導入されたあとにこれら民間利用者が業務を円滑に行えるよう、システムの操作仕様と取り扱いを定めた業務処理マニュアルを整備していく予定。

#### 【成果5】

適切な情報管理体制<sup>5</sup>が整備される。

(指標・目標値)

- 5 情報管理マニュアルが整備される。

(活動)

- 5-1 情報管理規則を策定する。
- 5-2 情報管理体制を整備する。
- 5-3 情報管理マニュアルを作成する。

---

<sup>4</sup> 主な対象は輸出入業者、通関業者、銀行等。

<sup>5</sup> 貨物のリスクに応じた税関手続きを行うための判定基準等について、密輸取り締まり・捜査局等が情報漏えい等を防ぐための管理を行うための体制

(説明)

VNACCS・VCISの導入にあたって、わが国の先進的な税関リスクマネジメントの手法の導入も期待される。しかし、税関リスクマネジメントを実践する際には、輸出入業者の情報や機密情報等、情報管理の徹底が求められる。そこで、担当部署において情報を適切に管理し、適切なリスクマネジメントが行えるよう、情報管理体制を整備する。

### 3-1-2 外部条件・前提条件

#### (1) 事業実施のための前提

- ・VNACCS・VCIS導入に向けた無償資金協力支援が開始される。
- ・VNACCS・VCIS導入に係るベトナム側負担事項が適切に履行される。

#### (2) アウトプット達成のための外部条件

- ・カウンターパートの人事異動が頻繁に起こらない。
- ・関連法規定の整備に対し、関係省庁等が反対しない。
- ・民間利用者がVNACCS・VCISの導入に反対しない。

#### (3) プロジェクト目標達成のための外部条件

- ・VNACCS・VCISの開発・導入が計画どおりに行われる。
- ・VNACCS・VCISの運用保守に係る人員・予算が確保される。

#### (4) 上位目標達成のための外部条件

- ・VNACCS・VCISの運用保守に係る人員・予算が継続的に確保される。
- ・他の省庁がシングル・ウィンドウ導入のための環境を整備する。

### 3-2 プロジェクト実施にあたってベトナム側と確認した留意事項

本体無償資金協力の実施スケジュールを踏まえGDVCが整備すべき環境とその具体的な内容・活動を協議し、付属資料の「3. プロジェクト・デザイン・マトリックス (Project Design Matrix)」及び「4. 活動計画表 (Plan of Operations)」にて合意した。

協議の過程で議論となったポイントは以下のとおり。

#### ➤ GDVCによる主体的な活動

本プロジェクトで明確化された活動は、VNACCS・VCISが適正に稼働するようにGDVCの運転・維持管理能力がしっかり定着する形で進めないといけないため、大半の活動がOJTベースで行われる。限られた時間のなかで定着するためには、これまでのプロジェクトと異なりGDVCが主体的に進め、日本人専門家が適宜サポートや助言を行うという形式を取ることが得策であり、そのためにも十分なカウンターパートの配置が必要であることを説明し、先方から了解を得た。

#### ➤ VNACCS・VCISの持続性

GDVCはVNACCS・VCISが導入されたあとの持続性に最も関心を有している。ソフト開発に

係る特命随意契約をベトナム政府内で承認をもらう過程で、関係機関から強く要請されている事項であるようにも見受けられるが、導入後極力自力でオペレーションと保守を行いたい、また今後の更新等でもNTTDに過度に依存するのではなく自力、あるいはローカルベンダーで対応することでコストを抑えていきたいとの思惑が交渉の過程で常にみられた。

この点、日本側が以前からコミットしている、持続性確保のための著作権に係る取り扱いや技術移転にもからむ話であり、具体的にどこまでが範囲として含まれるのかに焦点があたったが、当方からは①VNACCS・VCISの日常の適正な運転や維持管理を行うために、当局がすべきことは教えるが、プログラム開発そのものまでは教えられないこと、②日常の適正な運転・維持管理を行ううえで、安定した稼働を確保するためにはベンダーとの運転・保守契約が必要であることを再三説明し、先方から一定の理解を得た。

#### ➤ 運転・保守契約

上記のとおり、稼働後の運転・保守契約はVNACCS・VCISが安定的に稼働するためには不可欠と当方は認識しているが、協議の過程でその必要性については一定の理解を得た。他方、そういった契約を行うにあたってのノウハウがないため、例えば日本の契約事例等を参考情報として提供するといった支援が要請されたため、本契約に係る手続きをひとつの活動として含めることとした。

最終的に外部委託するかどうかは、引き続きベトナム政府内のいろいろな調整によって決定されるものと思われるが、PDMの活動として「運転・保守契約」を明記することは、上記を確保するうえでも得策であろうと考える。

#### ➤ シングル・ウィンドウ

GDVCとしてもナショナル・シングル・ウィンドウが進展していないことに危機感を有しているようで、本プロジェクトをテコにシングル・ウィンドウを前進させたいという意向を強くもっていた。

協議の過程では、本プロジェクトの活動としてシングル・ウィンドウを実践するといった文言とすることを主張していたが、当方からはその姿勢を歓迎しつつも、実現には各省庁との合意形成や各省庁のシステム等環境整備等多くのハードルや不確実要素があることを説明し、プロジェクトに含める活動としてはVNACCS・VCISの設計・開発に関連し、シングル・ウィンドウ実現のためのロードマップ案作成とその関係省庁との協議といった現実的な内容を活動に含めることとした。

#### ➤ VNACCS・VCIS更新のための戦略づくり

関税局とGDVCとの協議議事録において「情報通信技術（Information and Communication Technology : ICT）戦略」に係る技術支援が明記されている。

この点、GDVCが具体的に期待する支援を確認したところ、2016年からの5カ年計画のなかで盛り込むべき「VNACCS・VCISの更新・拡張の方向性」について検討するにあたっての助言を期待していることが判明したため、その活動を含めることとした。

なお、VNACCS・VCIS更新や拡張に関して、新たに今回のようなB/Dを作成するものではないことは確認済みである。

➤ データ移行

既存システムからVNACCS・VCISへのデータ移行については、GDVCが独自で行うべきことであることは認識を共有しているが、試験段階や本格稼働の過程で移行すべきデータがあるため、データ移行の過程でどの程度の支援が当方から得られるかの確認があった。

B/Dに記載されているとおり、原則GDVCが自力で行うことであることを説明したうえで、当方が提供できる支援をM/M上に明記することとした。

➤ GDVC及び地方税関の局長レベルの視察

VNACCS・VCISの適切かつスムーズな導入を実現するために、中央及び地方のハイレベルがVNACCS・VCISに係る理解を深める必要があるため、GDVCはこれらハイレベル（50～60人）の本邦への視察を要請した。

この点については、ハイレベルが十分に理解することの必要性を理解しつつも、予算及び受入体制上の制約もあるため、支援方法については実現可能な範囲で今後検討していくことで合意し、その旨M/M上に明記した。

### 3-3 プロジェクトの評価

以下の視点から評価した結果、協力の実施は適切であると判断される。

#### 3-3-1 妥当性

本プロジェクトは、以下の理由から妥当性が高いと判断できる。

##### (1) ベトナム政府の政策との整合性

ベトナムは2007年1月にWTOに加盟するなど対外開放的経済政策を進めており、国際貿易の拡大を通じた経済発展をめざしている。わが国との間でも2008年12月に日本・ASEAN包括的経済連携協定（Economic Partnership Agreement：EPA）がベトナムについて発効し、二国間EPAも2009年10月に発効している。また、ベトナムを含む東南アジア地域各国は、2010年10月28日にハノイで開催された第17回ASEAN首脳会議において、ASEAN域内における物理的、制度的及び人と人との連結性の強化を図る「ASEAN連結性マスタープラン」を採択するなど、2015年までのASEAN共同体実現のための取り組みを継続的に進めているほか、「アジアカーゴハイウェイ構想」を貿易円滑化の共通目標としてわが国と共有している。このような状況の下、ベトナムにおいては、「2020年までの税関近代化戦略」（2011年3月25日付首相決定）に基づき、通関に関する法制度及び業務プロセスの見直し並びにこれに対応したITシステムの導入を通じた税関の近代化が進められているところである。

本プロジェクトは、利便性及び効率性に優れたVNACCS・VCISの構築を行うものであり、上記2-2-1にて記載のとおり、「2020年までの税関近代化戦略」におけるベトナムの税関近代化に向けた取り組みの中核と位置づけられ、通関手続きの迅速化を通じた一層の貿易拡大及び経済成長に極めて重要な役割を果たすものであることから、税関及び国際貿易に直接かかわる民間企業のみならず貧困層を含む一般国民に広く裨益するものと考えられる。

また、本プロジェクトはベトナム税関における適切な取り締まりの実施に資するものであることから、不正薬物等の密輸防止及びテロ対策の改善等を通じて、民生の安定に貢献

するものと考えられる。

## (2) 日本政府の政策との整合性

本プロジェクトは、わが国の対ベトナム支援における重点分野の1つである「経済成長促進・国際競争力強化」に合致している。特に、税関の整備・運用の強化に向けた支援は、わが国を含む外資産業、地場産業による積極的な投資を下支えし、安定的な企業経営を可能とするビジネス環境の整備、今後の経済発展の原動力となるべき民間セクターの開発に資するものとして、分野ごとの具体的な援助の方向性に挙げられている。

また、通関手続き全体のシステム化により、税関職員、関係省庁職員、民間利用者など個々の恣意性が排除されることにつながるため、重点分野の1つである「ガバナンスの強化」へも貢献する案件である。

さらに、わが国の官と民が有する技術・ノウハウ、知見、人材を戦略的・集中的に投入することにより貿易円滑化の促進、通関手続きのレベル向上といった援助効果が高まることが期待される。わが国の民間企業の開発途上国への進出を後押しし、わが国の経済成長に寄与し、開発途上国の持続的な経済成長の実現を後押しするわが国の新成長戦略「インフラ海外展開の基盤整備支援」無償資金協力予算の対象としても位置づけられる。

## (3) プロジェクトのニーズ

現在実施中の無償資金協力により予定どおり2014年3月にVNACCS・VCISが稼働するためには、関係する法規程の整備及び官民利用者の習熟、また同システムを安定的・持続的に運営していくための維持管理手法の獲得及び体制の整備が不可欠であり、GDVC副総局長をリーダーとした70名にも及ぶカウンターパートチームを組織して、GDVCをあげて取り組む姿勢をみせている一方、本システムの円滑な導入のための経験やノウハウは不足しており、本プロジェクトに寄せられた期待は非常に高い。

### 3-3-2 有効性

本プロジェクトは、以下の理由から高い有効性が見込まれる。

本プロジェクトでは「VNACCS・VCISが円滑に稼働・維持管理されるための環境が整備される」ことを目的としており、①法規程に係る環境整備、②税関当局の利用者に対する習熟指導、③システムの適切な維持管理のための体制整備、④民間利用者に対する習熟指導、⑤秘匿性の高い情報に係る情報管理体制の整備といった5つの成果を柱とした網羅的な活動により右プロジェクト目標の達成を図るデザインとなっており、プロジェクトの目標を達成するうえで有効であるとともに、これら成果とプロジェクト目標の因果関係も明確である。

また、成果の達成からプロジェクト目標達成への外部条件として、(1) VNACCS・VCISの開発・導入が計画どおりに行われる、(2) VNACCS・VCISの運用保守に係る人員・予算が確保される、が認識されている。現在無償資金協力が予定どおりに進められるようにシステム開発開始に向けた手続きが進展中であるが、これら外部条件が満たされているかどうかモニタリングの際に留意していくことで本プロジェクトの有効性の向上に資することが期待される。

### 3-3-3 効率性

本プロジェクトは以下の理由から効率的な実施が見込まれる。

- (1) 2011年度に実施した無償資金協力に係る協力準備調査の過程で、VNACCS・VCISの基本設計にかかわった主要なベトナム側カウンターパートが、引き続き無償資金協力及び本プロジェクトのカウンターパートとして関与することが想定されている。そのため、システムの設計段階から内容を熟知しているとともに、無償資金協力の進捗に合わせて連携を図りながら、プロジェクトの活動を効率的に進めることができる。
- (2) VNACCS・VCISはわが国が使用しているNACCS・CISの技術を活用したものであるため、わが国に類似した手法や体制を整備していくことが求められるが、このような体制整備や能力向上を図るためにきめ細やかな技術支援を行っていくために、わが国財務省関税局が長期専門家派遣のみならず、ワーキング・グループ（WG）を組織して定期的に訪越して指導することで、連続性・一貫性のある指導が可能である。
- (3) VNACCS・VCISは官民双方の利用者の適切な利用があつてはじめて安定的な稼働が達成されるが、本プロジェクトではベトナム全土においてシステムの開発過程に応じて累次にわたり啓発活動を行うことが想定されており、十分な習熟指導が行われる見込みである。
- (4) 成果達成に至る外部条件として「カウンターパートの人事異動が頻繁に起こらない」「関連法規定の整備に対し、関係省庁等が反対しない」「民間利用者がVNACCS・VCISの導入に反対しない」を挙げている。本外部条件は成果の達成に対する阻害要因となる可能性があるため、定期的にモニタリングを行い、必要に応じて対応策を検討する。

### 3-3-4 インパクト

本プロジェクトの実施によるインパクトは、以下のように予測される。

本プロジェクトの上位目標は「ベトナムにおける貿易円滑化が進展する」ことと設定されており、無償資金協力により予定どおりVNACCS・VCISが開発・導入され、本プロジェクトによってそのシステムの安定的な稼働・維持管理を行うための実施体制整備がなされれば、上記2-2-2に記載されているように、通関所要時間の短縮が図られるとともに、電子申告から収納まで多くの業務が自動化されることにより利便性が向上することから、上位目標達成に大きく貢献すると期待される。

上位目標達成に至る外部条件として「VNACCS・VCISの運用保守に係る人員・予算が継続的に確保される」「他の省庁がシングル・ウィンドウ導入のための環境を整備する」が設定されている。上位目標の達成には、ベトナム側の自助努力に依存するところが大きく、特に運用保守に係る人員・予算の継続的な確保がなされない限り、上位目標を達成することができない。よって、上位目標の達成に向けて、ベトナム政府が本システムの安定的・持続的な稼働に必要な予算及び人員を継続的に確保しているかどうかを協力期間中から確認する。

また、シングル・ウィンドウについては、その本格導入がなされていないにもかかわらず、システム自体が稼働できないわけではないが、貿易円滑化にとって非常に重要な要素になる。協力期間中においても、将来的なシングル・ウィンドウ導入に向けた各省庁との検討等を行うことになっているが、当該活動の進捗や各省庁の動向についてモニタリングを行い、必要に応じて対応策を検討することが望ましい。



### 3-3-5 持続性

本プロジェクトの持続性は、以下のとおり期待される。

#### (1) 政策面

上記妥当性でも述べられているとおり、「2020年までの税関近代化戦略」（2011年3月25日付首相決定）に基づき、通関に関する法制度及び業務プロセスの見直し並びにこれに対応したITシステムの導入を通じた税関の近代化が進められており、当該戦略に基づき、ベトナム側のシステム構築を通じた税関近代化に対する積極的な姿勢は今後も続くものと考えられる。

#### (2) 組織・財政面

GDVCにおいて、VNACCS・VCISの運営維持管理を担当する税関情報技術・統計局の現職職員を中心に70名程度のカウンターパートが継続的にプロジェクトにかかわる予定であり、これら職員がプロジェクト終了後も継続的にかかわることで組織的にノウハウが蓄積されることが期待される。

また上記2-3-2にて記載のとおり、本システム導入に向けGDVCは組織をあげて必要な予算を確保しており、今後引き続き貿易量増加に伴って税収が確保されれば、それに応じて認められる予算も確保されることが期待される。

#### (3) 技術面

上述のとおり、プロジェクト期間を通じて70名程度のカウンターパートが継続的にプロジェクトにかかわる予定である。加えて、プロジェクトにおいては、今後の持続性確保のため、ベトナム側カウンターパートの主体的な活動を終始促し、日本人専門家が知識・ノウハウ面での提供を通じて側面支援する形式で、実践を通じた知識・ノウハウの蓄積及びマニュアル等の成果品の作成を図ることとしており、これらカウンターパートへの技術の定着も図られると期待される。

## 付 属 資 料

1. 事業事前評価表
2. 協議議事録 (Minutes of Meeting)
3. プロジェクト・デザイン・マトリックス (Project Design Matrix)
4. 活動計画表 (Plan of Operations)

## 1. 事業事前評価表

### 事業事前評価表

国際協力機構 産業開発・公共政策部 行財政・金融課

#### 1. 案件名

国名：ベトナム社会主義共和国

案件名：通関電子化促進プロジェクト

Project for Promoting E-Customs in Vietnam

#### 2. 事業の背景と必要性

##### (1) 当該国における公共財政セクターの現状と課題

ベトナム社会主義共和国（以下「ベトナム」）は、1986年のドイモイ（刷新）政策導入以降、継続的に経済成長を達成してきており、2009年の実質GDP成長率は5.3%、2010年は同6.7%と東南アジア地域の中でも比較的高い成長を達成している。この背景には2007年1月のWTO加盟以降、急速に伸びた外国直接投資があげられるが、これに比例し、輸出入量も年率10%を超える伸びを見せるなど飛躍的に増大して通関手続きの効率化がますます求められている。また、域内の貿易促進のため、東南アジア地域各国は、2010年10月28日にハノイで開催された第17回ASEAN首脳会議において、ASEAN域内における物理的、制度的及び人と人との連結性の強化を図る「ASEAN連結性マスタープラン」を採択するなど、2015年までのASEAN共同体実現のための取り組みを継続的に進めている。

このような状況の下、ベトナムは、国際物流の著しい増大及び高度化に適切に対応し、自国の投資・ビジネス環境整備につなげるべく、2012年までのナショナル・シングルウィンドウ<sup>1</sup>実用化や通関手続きの簡素化・国際的調和化といった税関行政の近代化を強力に推進している。ベトナム税関総局（以下「GDVC」）は、「税関近代化5か年計画」に基づき、必要な法・体制整備や人材育成等を行ってきており、加えて通関手続きにかかる包括的なITシステム構築も重要な戦略として位置づけている。しかしながら、現在はGDVCが独自に開発した通関システムを活用するにとどまっており、ナショナル・シングルウィンドウ機能を含む包括的な通関ITシステム構築が急務の課題となっている。

かかる背景の下、GDVCは、我が国財務省関税局をはじめとする関係機関が使用している輸出入・港湾関連情報処理システム（以下「NACCS」）および通関情報総合判定システム（以下「CIS」）の技術的優位性に鑑み、NACCS及びCIS技術を活用したベトナムにおける通関ITシステム（以下「VNACCS・VCIS」）構築に関し、我が国に対する無償資金協力を2011年9月に要請し、2012年2月の閣議で実施決定された。

システム導入に当たっては税関分野における既存の法規制や業務プロセスを見直すとともに、新システムについての関係者への周知・説明等、同システム導入に向けた周到な検討・準備が必要となるため、ベトナム政府は当該課題に対応するための体制作りや人材育

<sup>1</sup> シングル・ウィンドウとは、輸出入者等の利便性を一層高めるため、通関、検疫等の輸出入手続や港湾手続について、一回の申請で複数の手続を行えるようにすることをいう。

成にかかる技術協力プロジェクトを要請した。

## (2) 当該国における公共財政セクターの開発政策と本事業の位置づけ

ベトナムは、「2020年までの税関近代化戦略」（2011年3月25日付首相決定）において、IT技術に基づき、リスクマネジメント手法を広く適用した、国際慣行と調和した透明で簡素な税関手続きを実現した、ASEAN内先進諸国と同等の近代的な税関を構築することが全体目標としている。

GDVCでは、同戦略の下、法制度及び業務プロセスの見直し並びにこれらに対応したITシステムの導入を通じた税関の近代化に取り組んでおり、我が国のNACCS/CISの技術を活用したVNACCS・VCISの構築を目的とした無償資金協力および本事業は、当該取組みの中核に位置づけられている。

なお、同戦略においては、2015年までにすべての主要税関官署の通関手続きを電子化し、電子通関手続きの利用割合を全輸出入申告数の60%、全徴収税額の70%、全申告企業の60%とすることを目標としており、更に2020年までにはすべての税関官署の通関手続きを電子化し、電子通関手続きの利用割合を全輸出入申告数の100%、全徴収税額の90%、全申告企業の80%とすることを目標としている。また、ナショナル・シングルウィンドウ利用による輸出入許可を2015年には50%、2020年には90%とすることも目標としている。

また、ASEANにおいては、2015年までにASEANシングルウィンドウを構築することを目指しており、その前提として、ベトナムにおいては2012年までにナショナル・シングルウィンドウを導入することとしている。

## (3) 公共財政セクターに対する我が国およびJICAの援助方針と実績

2009年7月に策定された対ベトナム国別援助計画では、「WTOへの加盟や日越EPA署名を受けた一層の経済統合・貿易円滑化・投資促進のために、統計、知的財産権、税関、税務等の、市場経済の基盤となる経済制度の整備・運用を支援する」としており、本事業は右方針に合致する。また、事業展開計画に掲げる開発課題のうち「ビジネス環境整備・民間セクター開発」の一環として、税関行政の改善に取り組むこととしている。

また、国境を跨いだ物流の円滑化・迅速化を通じた地域協力・地域統合の推進については、我が国政府としても、アジア諸国と日本のシームレスな物流の実現を目的とする「アジアカーゴハイウェイ構想」を貿易円滑化の共通目標としてアジア各国と共有し、その実現を目指すべく具体的な支援を展開してきている。2010年には、我が国は日・ASEAN首脳会議やAPEC財務大臣会合の場で、域内の貿易円滑化を促進するためADBを通じた2,500万ドル規模の支援策を表明し、またJICAと我が国財務省関税局、アジア開発銀行(ADB)、世界関税機構(WCO)が連携して、アジアの更なる貿易円滑化による連結性向上を追及すべく、支援対象国ごとの協力計画を整理し、課題に応じた連携支援を進めているところである。本件は同構想の一環の支援として位置づけられる。

なお、ベトナムに対する税関分野支援としては、これまで「税関行政近代化のための指

導員養成プロジェクト（2004-2007）」、「メコン地域における税関リスクマネジメントプロジェクト（2007-2010）」、「税関行政官能力向上のための研修制度強化プロジェクト（2009-2012）」を通じ、通関手続きの適正化・迅速化のための人材育成を行ってきている。

#### (4) 他の援助機関の対応

世界銀行は 2005 年～2011 年にかけて、税関当局の実効性、効率性、説明責任、透明性の改善を通じた、貿易の促進、歳入徴収額の増加を図るため、包括的な通関電子システムの構築を含む「税関近代化プロジェクト」を実施してきたが、GDVC との間の方向性の違い等により大幅に遅れ、所期の目的を達成しないまま中止となっている。

### 3. 事業概要

#### (1) 事業目的（協力プログラムにおける位置づけを含む）

本事業は、VNACCS/VCIS 導入にあたって、法規程の整備及び GDVC の人材育成や体制整備を行うことにより、当該システムの円滑な運用維持管理を図り、もって通関手続きの迅速化・効率化に寄与するものである。

#### (2) プロジェクトサイト／対象地域名

ハノイ／ベトナム全国

#### (3) 本事業の受益者（ターゲット・グループ）

本事業のターゲット・グループは、GDVC 職員から構成されるワーキング・グループ（WG）約 20 名 VNACCS・VCIS。

#### (4) 事業スケジュール（協力期間）

2012 年 4 月～2015 年 3 月を予定（計 36 ヶ月）

#### (5) 総事業費（日本側）

4.81 億円

#### (6) 相手国側実施機関

財務省 ベトナム税関総局（General Department of Vietnam Customs: GDVC）

#### (7) 投入（インプット）

##### 1) 日本側

- ① 長期専門家派遣：チーフ・アドバイザー/税関行政、システム運営管理、業務調整（最大 3 名×36MM）
- ② 短期専門家派遣：法規程規定・通関業務プロセス見直し、IT 等プロジェクトの効果的

実施のために必要に応じて派遣

- ③ 本邦および/または第三国研修:プロジェクトの効果的実施のために必要に応じて実施
  - ④ 機材供与:プロジェクト活動に必要な資機材の供与
  - ⑤ 現地活動経費
- 2) ベトナム側
- ① カウンターパート配置 (Project Director、Project Manager、Working Group)
  - ② プロジェクト事務所:プロジェクト実施に必要な JICA 専門家執務室、施設設備など
  - ③ 運営・経常経費:ワークショップや説明会等に係る経費 (含むカウンターパートや参加者の旅費・交通費)、電気・水道などの運営費など

(8) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境に対する影響/用地取得・住民移転

①カテゴリ分類:C

②カテゴリ分類の根拠:本件は、VNACCS・VCIS 導入に伴う法規程やビジネスプロセスの改善を通じて GDVC の人材育成および体制整備を図るものであり、環境社会配慮上の影響は生じない。

2) ジェンダー・平等推進/平和構築・貧困削減

特になし

3) その他

特になし

(9) 関連する援助活動

1) 我が国の援助活動

我が国はベトナムにおいて、NACCS 及び CIS 技術を活用した電子通関システム (VNACCS・VCIS) を構築することにより、通関手続きの迅速化・効率化を図るための無償資金協力事業を実施予定であり、2014年3月をめどに、全国の税関33官署に同システムが導入される予定。

2) 他ドナー等の援助活動

上記2.(4)の世界銀行による支援に加え、米国国際開発庁が2010年にナショナル・シングルウィンドウ実施にあたっての法令・規則にかかる課題の特定にかかる技術支援を提供。

#### 4. 協力の枠組み

(1) 協力概要

1) 上位目標:

ベトナムにおける貿易円滑化が進展する。

指標：

- ・ 通関所要時間が簡易審査で 3 分（申告から許可まで）、書類審査で 15 分（書類審査開始から書類審査終了まで）になる。
- ・ 貿易手続きの効率化指標<sup>2</sup>が改善する。
- ・ 複数の省庁がシングル・ウィンドウに参加する。

2) プロジェクト目標：

VNACCS・VCIS が円滑に稼働・維持管理されるための環境が整備される。

指標：

- ・ 輸出入申告件数のうち VNACCS を通じた申告件数の割合が X%になる。
- ・ 税関当局に対する税関手続き処理に係るクレームが減少する。
- ・ VNACCS・VCIS が適切に維持管理され、目標の稼働率 99.9%が達成される。

3) 成果および活動

成果 1：VNACCS・VCIS の利用に対応した必要な法規程が整備される。

指標：

1-1 必要十分な法規程が制定される。

活動：

- ①制度、通関業務プロセス変更に伴って変更が必要な法規程の特定、②改訂案の作成、③改訂案にかかる関係機関との協議

成果 2：通関担当職員が VNACCS・VCIS を適切に利用するために必要な知識・スキルを獲得する。

指標：

2-1 VNACCS・VCIS 利用に係る説明会受講者数が通関担当職員の X%になる。

2-2 通関担当職員向け業務処理ガイドラインが作成される。

活動：

- ①システム開発の各段階（詳細設計段階、詳細設計確定段階、試験段階）における通関担当職員向け説明会用資料の作成、②説明会を実施する講師の育成、③システム開発の各段階における説明会の実施、④VNACCS・VCIS の円滑な運用に向けた幹部職員への説明、⑤通関担当職員向け業務処理ガイドラインの作成

成果 3：VNACCS・VCIS を適切に運用・維持管理するための体制が整備され、必要な人材<sup>3</sup>が育成される。

指標：

---

<sup>2</sup>世界銀行が隔年公表しており、各国の通関手続きの効率性に関する評価値が示されているロジスティクス・パフォーマンス・インデックス（LPI）を活用する。

<sup>3</sup> 主な対象は税関情報技術・統計局職員

- 3-1 VNACCS・VCIS 導入に向けた関係省庁との協議回数。
- 3-2 VNACCS 利用者向けヘルプデスクが整備される。
- 3-3 システム運営・問題処理にかかるマニュアル等が整備される。
- 3-4 システムエラーの発生・対応件数。

活動：

①システム詳細設計の審査、②シングル・ウィンドウ導入に向けた工程表案作成と関係機関との協議、③システム運用・維持管理担当者の育成とヘルプデスク等体制整備、④システム運用・維持管理にかかる問い合わせ対応や問題処理への体制整備と実施、⑤2020年の税関分野における IT 活用に向けた適切なマスタープランの作成など

成果4:民間利用者<sup>4</sup>がVNACCSを適切に利用するために必要な知識・スキルを獲得する。

指標：

- 4-1 VNACCS 導入にかかる説明に参加した民間利用者が X 社、X 名になる。
- 4-2 VNACCS の概要及び利用方法を理解する民間利用者の割合が X%になる。
- 4-3 民間利用者向け業務処理マニュアルが作成される。

活動：

①システム開発の各段階（詳細設計段階、詳細設計確定段階、試験段階）における民間利用者向け説明会用資料の作成、②システム開発の各段階における説明会の実施、③民間利用者向け業務処理マニュアルの作成

成果5：適切な情報管理体制<sup>5</sup>が整備される。

指標：

- 5 情報管理マニュアルが整備される。

活動：

① 情報管理規則の策定、②情報管理体制の整備、③情報管理マニュアルの作成

#### 4) プロジェクト実施上の留意点

- ・ 本事業は、VNACCS・VCIS 導入後、GDVC 自らが運用・維持管理できるようその人材育成や体制整備を行うものであり、プロジェクト活動を通じた知識や経験の蓄積が不可欠となる。したがって、各活動はベトナム側カウンターパート（ワーキング・グループ）が主体的に活動し、日本人専門家が適宜助言・支援することにより協働を通じた技術支援を行うこととする。
- ・ したがって上記を達成するために、必要十分な GDVC 側カウンターパートの配置が必要である。
- ・ 各指標の目標値（XX %/人など）は、ベースライン調査実施後に具体的な数値を設定

<sup>4</sup> 主な対象は輸出入業者、通関業者、銀行等

<sup>5</sup> 貨物のリスクに応じた税関手続きを行うための判定基準等について、密輸取締・捜査局等が情報漏えい等を適切に防ぐための管理を行うための体制



し、合同調整委員会（JCC）<sup>6</sup>にて承認を得る予定である。

- ・ 本事業は2012年4月から2014年3月の間で実施予定の無償資金協力事業に連携・補完するプロジェクトとして位置づけられる。同無償資金協力事業は、調査結果を踏まえ実現可能な工程が計画されているが、その進捗が遅れた場合においても、本事業の協力期間3年間での完工が想定され、本事業の活動内容に影響は生じない。

## (2) その他インパクト

本事業を通じて VNACCS・VCIS を適切に運用・維持管理する体制が整うことで、ベトナムにおいて恣意性を排除した適切な税関行政が行われ、ひいては国際競争力の強化につながることを期待される。

## 5. 前提条件・外部条件（リスク・コントロール）

### (1) 事業実施のための前提

- ・ VNACCS・VCIS 導入に向けた無償資金協力支援が開始される。
- ・ VNACCS・VCIS 導入にかかるベトナム側負担事項が適切に履行される。

### (2) アウトプット達成のための外部条件

- ・ カウンターパートの人事異動が頻繁に起こらない。
- ・ 関連法規定の整備に対し、関係省庁等が反対しない。
- ・ 民間利用者が VNACCS・VCIS の導入に反対しない。
- ・

### (3) プロジェクト目標達成のための外部条件

- ・ VNACCS・VCIS の開発・導入が計画通りに行われる。
- ・ VNACCS・VCIS の運用保守にかかる人員・予算が確保される。

### (4) 上位目標達成のための外部条件

- ・ VNACCS・VCIS の運用保守にかかる人員・予算が継続的に確保される。
- ・ 他の省庁がシングル・ウィンドウ導入のための環境を整備する。

## 6. 評価結果

本事業は、ベトナムの開発政策、開発ニーズ、日本の援助政策と十分に合致しており、また計画の適切性が認められることから、実施の意義は高い。

## 7. 過去の類似案件の教訓と本事業への活用

同国に対する「税関近代化のための指導員養成プロジェクト(2004年8月～2007年8月)」では、同じ短期専門家をシャトル形式で累次にわたって派遣することで、日本人専門家とワーキング・グループとの間での良好な人間関係構築に寄与するとともに、ワーキング・

<sup>6</sup> JICA やベトナム財務省等双方関係機関の代表で構成され、プロジェクトの進捗や成果を確認するとともに、活動の方向性について議論するための委員会として年1回程度開催される。

グループ・メンバーの能力習得状況の適時モニタリングによる継続的な技術支援が可能となった。

本件については、VNACCS・VCIS 導入後、ベトナム側が自ら運用・維持管理できるような能力・体制を整備していく必要があるため、不断の改善に向けたきめ細やかな支援が必要になるところ、上記教訓を活かして、極力同一の専門家が比較的長期にわたり関与できるような投入を行う。加えて、本事業においてもワーキング・グループを設置する。

## 8. 今後の評価計画

(1) 今後の評価に用いる主な指標

4. (1) のとおり。

(2) 今後の評価計画

事業開始 6 ヶ月以内	ベースライン調査
事業中間時点	中間レビュー
事業終了 6 ヶ月前	終了時評価
事業終了 3 年後	事後評価

以 上

**MINUTES OF MEETINGS BETWEEN  
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY  
AND  
THE GENERAL DEPARTMENT OF VIETNAM CUSTOMS, MINISTRY OF FINANCE  
ON  
THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION  
FOR  
PROJECT FOR PROMOTING E-CUSTOMS IN VIETNAM**

The Detailed Planning Survey Team (hereinafter referred to as "the Team") for the Project for Promoting E-Customs in Vietnam (hereinafter referred to as "the Project") organized by Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Motonori Tanaka, Deputy Director General, Industrial Development and Public Policy Department visited the Socialist Republic of Vietnam (hereinafter referred to as "Vietnam") from 8<sup>th</sup> February, 2012 to 10<sup>th</sup> February, 2012.

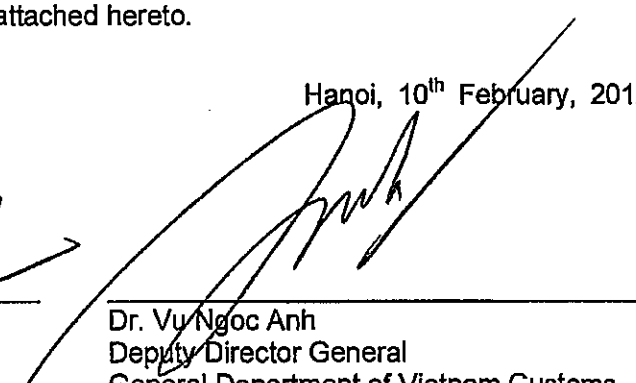
The Team had a series of meetings with the General Department of Vietnam Customs (hereinafter referred to as "GDVC") and authorities concerned of the Government of Vietnam for the purpose of working out the details of the Project including the desirable measures to be taken by both sides for the successful implementation of the Project.

As a result of the discussions, both sides reached a common understanding for matters referred to in the documents attached hereto.

Hanoi, 10<sup>th</sup> February, 2012



Mr. Motonori Tanaka  
Leader  
Preparatory Survey Team  
Japan International Cooperation Agency  
Japan




Dr. Vu Ngoc Anh  
Deputy Director General  
General Department of Vietnam Customs  
Ministry of Finance  
Socialist Republic of Vietnam

## I. BACKGROUND OF THE PROJECT

Vietnam has been continuously developed since the Doi Moi reform program in 1986 and achieved comparatively high growth rate, 5.3% in 2009, 6.7% in 2010 in the Asian region. There lies a factual background that direct foreign investment rapidly expanded after joining World Trade Organization (WTO) in January 2007. Commensurately, the annual growth rate of import and export has dramatically increased beyond 10%. In addition, the Heads of State/Government of the Member States of the Association of Southeast Asian Nations (ASEAN) adopted the Master Plan on ASEAN Connectivity, which aims to enhance physical, institutional and people-to-people connectivity among ASEAN Member States, at the 17th Summit held in Hanoi on October 28, 2010. Southeast Asian countries continue efforts to realize ASEAN Economic Community (AEC) until 2015.

Asian countries and Japan proceed cooperation to realize "the Asia Cargo Highway" in order to achieve seamless distribution between Asian countries and Japan. The Japanese government has supported specifically to promote the regional cooperation and integration through smooth and speedy cross-border distribution. In 2010, the Japanese government pronounced the support measures worth 25million dollars through Asian Development Bank (ADB) to facilitate smooth trade within the ASEAN region at the ASEAN summit and the Asia-Pacific Economic Cooperation (APEC) financial ministerial meeting. JICA, Customs and Tariff Bureau, Ministry of Finance Japan, ADB and World Customs Organization (WCO) are working together to arrange cooperation matrix for each target country and to provide support in accordance with focused issue in order to enhance the connectivity through smooth trade in Asia.

Under these circumstances, Vietnam strongly promotes modernization of customs administration such as the practical realization of National Single Window until 2012, streamline of customs clearance procedure and international harmonization, in order to establish attractive investment and business environment, which properly responds to rapidly increasing and high-developed international distribution. To solve these issues, GDVC has implemented streamlining of laws and regulations and development of human resource. In addition, GDVC has positioned establishment of Information Technology (IT) system as an important strategy. To establish IT system, World Bank has started the project for customs modernization since 2005. However, because of a substantial delay in activities, it finished before the deadline without achieving the desired goal. Presently, the only working customs system is the one developed independently by GDVC. It is an urgent issue to establish a comprehensive customs clearance IT system, which includes the National Single Window function. 

Under such background, in consideration of technical advantages of Nippon Automated Port and cargo Consolidated System (hereinafter referred to as "NACCS") and Customs Intelligent database System (hereinafter referred to as "CIS") adopted by Customs and Tariff Bureau, Ministry of Finance Japan and related organizations, GDVC requested to the Japanese government for grant aid regarding establishment of customs IT system in Vietnam (hereinafter referred to as "VNACCS/VCIS") in September 2011.

Based on the request, JICA carried out the preparatory survey, examined the design of cooperation and estimated the approximate project cost. Based on the results obtained by the survey, the grant aid project is expected to be adopted at a Cabinet meeting held in February 2012.

When the project is adopted, the development and introduction of VNACCS/VCIS will be done until March 2014. To introduce VNACCS/VCIS, it is necessary to streamline the present laws and regulations and work process, along with deliberate examination and preparation such as notification and explanation to people concerned. As a result, the Vietnam government requested technical cooperation project regarding establishment of VNACCS/VCIS in order to deal with the issue and develop human resources and it was adopted by the Japanese government in January, 2012.

## **II. SPECIFIC ISSUES CONFIRMED ON THE PROJECT**

### **(1) Vietnamese initiative and sufficient assignment of counterpart personnel**

In addition to the In-house Training, each activity of the Project needs to be conducted by the On-the Job Training basis so that relevant officials of GDVC can acquire necessary practical knowledge and skills, and thus GDVC take full responsibility to properly operate, maintain and renew VNACCS/VCIS after its introduction.

In this regard, both sides agreed that GDVC takes the initiatives in carrying out the activities described in the PDM by assigning sufficient counterpart personnel as a Working Group with the sufficient advices and technical support of Japanese experts.

### **(2) Data transfer from the existing system to VNACCS/VCIS**

When the Vietnamese side takes responsibility of data transfer, the Japanese side will provide adequate support to GDVC including sharing the data format with GDVC and importing the converted data into VNACCS/VCIS.

### **(3) Activities for explanation and consultation with high level of GDVC and local customs**

Both sides agreed that it is necessary to have better understanding from high level

about advantage of VNACCS/VCIS so that the system can be smoothly and properly introduced nationwide.

For that purpose, GDVC requested study tours of director level to Japan.

Japanese side took note its request and will consider how they can meet GDVC's expectation feasibly and appropriately.

### **III. BASIC FRAMEWORK OF THE PROJECT**

Both sides discussed and adopted the summary of the Project as follows:

1. Project Title

The Project for Promoting E-Customs in Vietnam

2. Project Duration

Three (3) years (the Project is planned to start from April, 2012)

3. Project Purpose

Necessary environment for operating and maintaining VNACCS/VCIS is established.

4. Target Group

(1) Direct Beneficiaries: General Department of Vietnam Customs (GDVC) officials and participants of training

(2) Indirect Beneficiaries: potential private users of VNACCS/VCIS

5. Details of the Project

See Tentative Project Design Matrix in ANNEX II

6. Tentative Schedule of Project Implementation

See Tentative Plan of Operations in ANNEX III

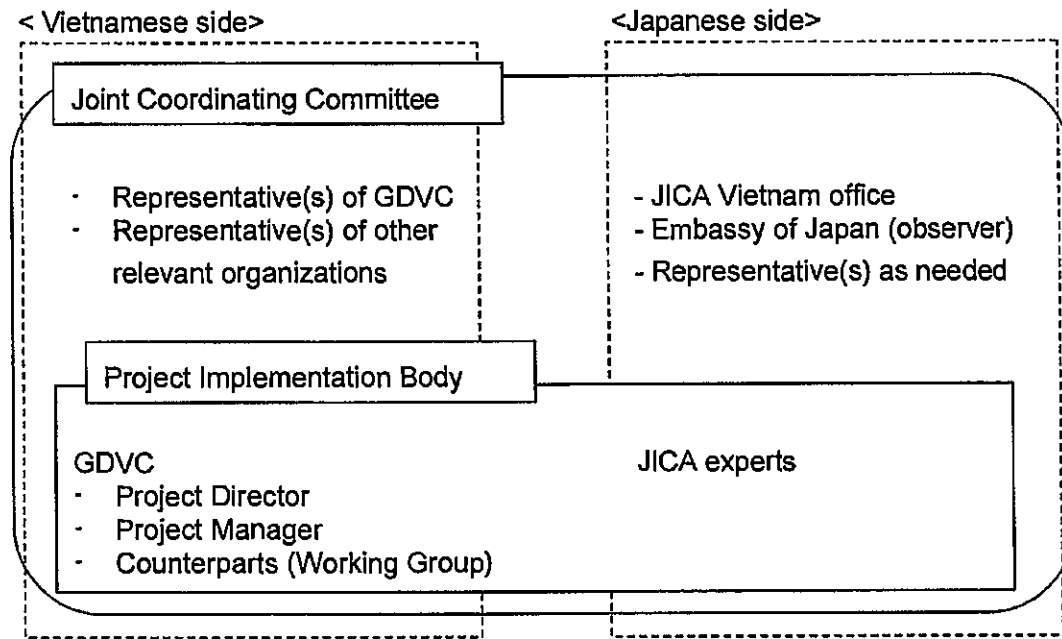
### **IV. SIGNING OF THE RECORD OF DISCUSSIONS AND THE MINUTES OF MEETING**

Both sides prepared the draft version of the R/D as attached in ANNEX IV.



ANNEX I	Implementation Structure of the Project
ANNEX II	Tentative Project Design Matrix (PDM)
ANNEX III	Tentative Plan of Operations (PO)
ANNEX IV	Draft Record of Discussions (Draft R/D)

ANNEX I Implementation Structure of the Project





**ANNEX II : PDM<sub>0</sub>**

Project Title: Project for Promoting E-Customs in Vietnam

Project Duration: from 1<sup>st</sup> April 2012 to 31<sup>st</sup> March 2015 (three years)

Version: No. 0

Target Group: General Department of Vietnam Customs (GDVC) officials and participants of training

Date : 10<sup>th</sup> February, 2012

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
<p><b>Overall Goal</b></p> <p>Trade facilitation in Vietnam is further promoted.</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Reduce the amount of time required for customs clearance to 3 minutes for Simplified Examination (from declaration to permission), to 15 minutes for Document Examination (from start screening to completion of examination).</li> <li>2. Indicators of efficient trade processing are improved.</li> <li>3. Several ministries concerned participates national single window.</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. GDVC annual report, Time release study, Sample survey</li> <li>2. The World Bank statistics (Logistics Performance Index)</li> <li>3. System administration record</li> </ol>	
<p><b>Project Purpose</b></p> <p>Necessary environment for operating and maintaining VNACCS/VCIS is established.</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. The rate of declared number through VNACCS reaches X% of the total declared number of import and exports.</li> <li>2. The number of claims against customs procedure handled by the customs authority decreases.</li> <li>3. VNACCS/VCIS is maintained and managed properly and targeted capacity utilization at 99.9% is attained.</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. GDVC annual report</li> <li>2. Questionnaire survey</li> <li>3. Activity report of the Project</li> </ol>	<p>Sufficient number of staff and budget for operation and maintenance of VNACCS/VCIS are secured. Relevant ministries establish necessary environment for introducing national single window.</p>
<p><b>Outputs</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Necessary laws and regulations corresponding to usage of VNACCS/VCIS is established.</li> <li>2. The officials of GDVC acquire necessary knowledge and skills to use VNACCS/VCIS properly.</li> <li>3. Structure to operate, maintain and manage VNACCS/VCIS properly is established and necessary human resource is developed.</li> <li>4. Users in the private sector acquire necessary knowledge and skills to use VNACCS/VCIS properly.</li> <li>5. Proper information security policy and mechanism is established.</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1-1. Necessary and sufficient laws and regulations are established.</li> <li>2-1. The rate of participants of explanatory meeting about VNACCS /VCIS reaches X% of the total number of officers engaging customs clearance.</li> <li>2-2. Business processing guidelines for customs users is developed.</li> <li>3-1. The number of meetings held with relevant ministries for introducing national single window</li> <li>3-2. Help desk for VNACCS users is established.</li> <li>3-3. Manuals for system administration and problem processing are developed.</li> <li>3-4. The number of occurrence and handling of system errors.</li> <li>4-1. The number of staff as well as private corporations participated in the explanatory meeting reaches X.</li> <li>4-2. The rate of users in the private sector who understand the outline and usage of VNACCS reaches X%.</li> <li>4-3. Business processing manuals for users in the private sector is developed.</li> <li>5. Information security manual is developed.</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1-1. Laws and regulations</li> <li>2-1. Performance report of training</li> <li>2-2. Business processing guidelines for customs users</li> <li>3-1. Activity report of the Project</li> <li>3-2. Annual GDVC report (Conditions of facilities and staff of help desk that was set up by the project )</li> <li>3-3. Manuals for system administration and problem processing</li> <li>3-4. System administration record</li> <li>4-1. Performance report of the explanatory meeting</li> <li>4-2. Questionnaire survey, Number of inquiry asked to help desk and tendency of inquiries.</li> <li>4-3. Business processing manuals for users in the private sectors</li> <li>5. Information security manual</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• VNACCS /VCIS are developed and introduced as planned.</li> <li>• Sufficient number of staff and budget to operate and maintain VNACCS/VCIS is secured.</li> <li>• The other ministries and agencies concerned do not oppose the streamlining relevant legal provisions.</li> <li>• Users in the private sector do not oppose introduction of VNACCS/VCIS.</li> </ul>

Jan

<p><b>Activities</b> As for following activities, counterparts in Vietnam take the initiatives and the Japanese side offers necessary advice and support.</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1. With change of system and custom-house business process, specify relevant laws and regulations which need to be revised</li> <li>1-2. Make draft revisions of relevant laws and regulations</li> <li>1-3. Consult draft revisions with stakeholders</li> <li>2-1. Prepare explanatory materials in accordance with each stage, such as detail design, completion of detail design and running test to customs users</li> <li>2-2. Develop instructors who conduct explanation to customs users</li> <li>2-3. Conduct explanatory meetings for customs users in accordance with each stage such as detail design, completion of detail design and running test</li> <li>2-4. Conduct explanation and consultation to management level including local customs for smooth introduction of VNACCS/VCIS</li> <li>2-5. Develop business processing guidelines for customs users</li> <li>3-1. Examine the detail design in consideration of necessary changes in customs procedures and legal system in Vietnam</li> <li>3-2. Develop the draft roadmap for introducing national single window</li> <li>3-3. Discuss with relevant ministries on introducing national single window</li> <li>3-4. Train the specialized technicians for administration of the system</li> <li>3-5. Establish necessary structure including user's help desk and assigning technicians for administration of the system</li> <li>3-6. Establish necessary structure to plan and implement running test properly</li> <li>3-7. Establish a structure to grasp and solve problems in order to operate, maintain and renew the system properly</li> <li>3-8. Contracting with vendors for operation and maintenance in order to secure proper operation of VNACCS/VCIS</li> <li>3-9. Respond to inquiries and problem handling after the system starts operation</li> </ol>	<p><b>Inputs</b> Japanese side</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Expert(s) <ul style="list-style-type: none"> <li>Up to three Long-term experts</li> <li>• Chief adviser /Customs administration</li> <li>• Operation and maintenance of the system</li> <li>• Coordinator</li> </ul> </li> <li>Short-term experts (as needed) <ul style="list-style-type: none"> <li>• Review of laws and regulations and custom-house business process, IT etc.)</li> </ul> </li> <li>2. Training in Japan and/or Third-country training</li> <li>3. Equipment provision (as needed)</li> <li>4. Project expense for field activities <ul style="list-style-type: none"> <li>• Expense to prepare teaching materials and documents for explanation etc.</li> <li>• Others (travel expense for experts, transportation cost)</li> </ul> </li> </ol>	<p>Vietnam side</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Human resource <ul style="list-style-type: none"> <li>Project director</li> <li>Project manager</li> <li>Counterpart WG</li> </ul> </li> <li>2. Provide offices and basic logistic facilities necessary to implement the project.</li> <li>3. Operating and ordinary expenses <ul style="list-style-type: none"> <li>• Expenses for electricity, water, communication etc.</li> <li>• Expenses to hold explanatory meetings</li> <li>• Others</li> </ul> </li> </ol>	<p>Change in personnel of counterpart does not happen frequently.</p> <hr/> <p><b>Preconditions</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Grant aid for developing VNACCS/VCIS starts as planned.</li> <li>• Vietnamese side properly undertakes the responsibilities for developing VNACCS/VCIS.</li> </ul>
--	--	--	---

5

<p>3-10. Develop an appropriate Customs ICT master plan to 2020</p> <p>4-1. Prepare documents in accordance with each stage such as detail design, completion of detail design and running test, which are delivered to users in the private sector and banks at an explanatory meeting</p> <p>4-2. Conduct an explanatory meeting for users in the private sector and banks in accordance with each stage such as detail design, completion of detail design and running test</p> <p>4-3. Develop business processing manuals for users in the private sector</p> <p>5-1. Develop necessary information security policy</p> <p>5-2. Develop necessary information security mechanism</p> <p>5-3. Develop information security manual</p>		
---	--	--



of

ANNEX III  
PROJECT FOR PROMOTING E-CUSTOMS IN VIETNAM  
TENTATIVE PLAN OF OPERATION

YEAR	2012												2013												2014												2015#		
	MONTH	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
TOTAL PERIOD		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36		
EVALUATION SURVEYS																																							
Output 1. Necessary laws and regulations corresponding to usage of VNACCS/VGIS is established.																																							
1-1. With change of system and custom-house business process, specify relevant laws and regulations which need to be revised																																							
1-2. Make draft revisions of relevant laws and regulations																																							
1-3. Consult draft revisions with stakeholders																																							
Output 2. The officials of GDVC acquire necessary knowledge and skills to use VNACCS/VGIS properly.																																							
2-1. Prepare explanatory materials in accordance with each stage, such as detail design, completion of detail design and running test to customs users																																							
2-2. Develop instructors who conduct explanation to customs users																																							
2-3. Conduct explanatory meetings for customs users in accordance with each stage such as detail design, completion of detail design and running test																																							
2-4. Conduct explanation and consultation to management level including local customs for smooth introduction of VNACCS/VGIS																																							
2-5. Develop business processing guidelines for customs users																																							
Output 3. Structure to operate, maintain and manage VNACCS/VGIS properly is established and necessary human resource is developed.																																							
3-1. Examine the detail design in consideration of necessary changes in customs procedures and legal system in Vietnam																																							
3-2. Develop the draft roadmap for introducing national single window																																							
3-3. Discuss with relevant ministries on introducing national single window																																							
3-4. Train the specialized technicians for administration of the system																																							
3-5. Establish necessary structure including user's help desk and assigning technicians for administration of the system																																							
3-6. Establish necessary structure to plan and implement running test properly																																							
3-7. Establish a structure to grasp and solve problems in order to operate, maintain and renew the system properly																																							
3-8. Contracting with vendors for operation and maintenance in order to secure proper operation of VNACCS/VGIS																																							

AK

yes

ANNEX III  
PROJECT FOR PROMOTING E-CUSTOMS IN VIETNAM  
TENTATIVE PLAN OF OPERATION

YEAR	2012												2013												2014												2015 #		
	MONTH	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
TOTAL PERIOD	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36			
3-9. Respond to inquiries and problem handling after the system starts operation																																							
3-10. Develop an appropriate Customs ICT master plan to 2020																																							
Output 4. Users in the private sector acquire necessary knowledge and skills to use VNA CCS/VCLIS properly.																																							
4-1. Prepare documents in accordance with each stage such as detail design, completion of detail design and running test, which are delivered to users in the private sector and banks at an explanatory meeting																																							
4-2. Conduct an explanatory meeting for users in the private sector and banks in accordance with each stage such as detail design, completion of detail design and running test																																							
4-3. Develop business processing manuals for users in the private sector																																							
Output 5. Proper information security policy and mechanism is established.																																							
5-1. Develop necessary information security policy																																							
5-2. Develop necessary information security mechanism																																							
5-3. Develop information security manual																																							

NOTE) Above mentioned starting period, schedule and so on are subject to change through future discussions.

**ANNEX IV**

**Draft**

**RECORD OF DISCUSSIONS**  
**ON**  
**PROJECT FOR PROMOTING E-CUSTOMS IN VIETNAM**  
**IN**  
**THE SOCIALIST REPUBLIC OF VIETNAM**

**AGREED UPON BETWEEN**  
**GENERAL DEPARTMENT OF VIETNAM CUSTOMS**  
**AND**  
**JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY**

Hanoi, day month, 2012

---

Mr.  
Chief Representative,  
Vietnam Office,  
Japan International Cooperation  
Agency  
Japan

---

Mr.  
Director General  
General Department of Vietnam  
Customs  
Ministry of Finance  
Socialist Republic of Vietnam

Based on the minutes of meetings on the Detailed Planning Survey on the Project for Promoting E-Customs in Vietnam (hereinafter referred to as "the Project") signed on 10th February 2012 between the General Department of Vietnam Customs (hereinafter referred to as "GDVC") and the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), JICA held a series of discussions with GDVC and relevant organizations to develop a detailed plan of the Project.

Both parties agreed the details of the Project and the main points discussed as described in the Appendix 1 and the Appendix 2 respectively.

Both parties also agreed that GDVC, the counterpart to JICA, will be responsible for the implementation of the Project in cooperation with JICA, coordinate with other relevant organizations and ensure that the self-reliant operation of the Project is sustained during and after the implementation period in order to contribute toward social and economic development of the Socialist Republic of Vietnam (hereinafter referred to as "Vietnam").

The Project will be implemented within the framework of the Agreement on Technical Cooperation signed on XXX (hereinafter referred to as "the Agreement") and the Note Verbales exchanged on XXX between the Government of Japan (hereinafter referred to as "GOJ") and the Government of Vietnam (hereinafter referred to as "GOV").



Appendix 1: Project Description  
Appendix 2: Main Points Discussed



## PROJECT DESCRIPTION

Both parties confirmed that there is basically no change in the Project Description agreed on in the minutes of meetings on the Detailed Planning Survey on the Project signed on 10th February 2012.

### I. BACKGROUND

Vietnam has been continuously developed since the Doi Moi reform program in 1986 and achieved comparatively high growth rate, 5.3% in 2009, 6.7% in 2010 in the Asian region. There lies a factual background that direct foreign investment rapidly expanded after joining World Trade Organization (WTO) in January 2007. Commensurately, the annual growth rate of import and export has dramatically increased beyond 10%. In addition, the Heads of State/Government of the Member States of the Association of Southeast Asian Nations (ASEAN) adopted the Master Plan on ASEAN Connectivity, which aims to enhance physical, institutional and people-to-people connectivity among ASEAN Member States, at the 17th Summit held in Hanoi on October 28, 2010. Southeast Asian countries continue efforts to realize ASEAN Economic Community (AEC) until 2015.

Asian countries and Japan proceed cooperation to realize "the Asia Cargo Highway" in order to achieve seamless distribution between Asian countries and Japan. The Japanese government has supported specifically to promote the regional cooperation and integration through smooth and speedy cross-border distribution. In 2010, the Japanese government pronounced the support measures worth 25million dollars through Asian Development Bank (ADB) to facilitate smooth trade within the ASEAN region at the ASEAN summit and the Asia-Pacific Economic Cooperation (APEC) financial ministerial meeting. JICA, Customs and Tariff Bureau, Ministry of Finance Japan, ADB and World Customs Organization (WCO) are working together to arrange cooperation matrix for each target country and to provide support in accordance with focused issue in order to enhance the connectivity through smooth trade in Asia.

Under these circumstances, Vietnam strongly promotes modernization of customs administration such as the practical realization of National Single Window until 2012, streamline of customs clearance procedure and international harmonization, in order to establish attractive investment and business environment, which properly responds to rapidly increasing and high-developed international distribution. To solve these issues, GDVC has implemented streamlining of laws and regulations and development of human resource. In addition, GDVC has positioned establishment of Information Technology (IT) system as an important strategy. To establish IT system, World Bank has started the project for customs modernization since 2005. However, because of a substantial delay in activities, it finished before the





deadline without achieving the desired goal. Presently, the only working customs system is the one developed independently by GDVC. It is an urgent issue to establish a comprehensive customs clearance IT system, which includes the National Single Window function.

Under such background, in consideration of technical advantages of Nippon Automated Port and cargo Consolidated System (hereinafter referred to as "NACCS") and Customs Intelligent database System (hereinafter referred to as "CIS") adopted by Customs and Tariff Bureau, Ministry of Finance Japan and related organizations, GDVC requested to the Japanese government for grant aid regarding establishment of customs IT system in Vietnam (hereinafter referred to as "VNACCS/VCIS") in September 2011.

Based on the request, JICA carried out the preparatory survey, examined the design of cooperation and estimated the approximate project cost. Based on the results obtained by the survey, the grant aid project is expected to be adopted at a Cabinet meeting held in February 2012.

When the project is adopted, the development and introduction of VNACCS/VCIS will be done until March 2014. To introduce VNACCS/VCIS, it is necessary to streamline the present laws and regulations and work process, along with deliberate examination and preparation such as notification and explanation to people concerned. As a result, the Vietnam government requested technical cooperation project regarding establishment of VNACCS/VCIS in order to deal with the issue and develop human resources and it was adopted by the Japanese government in January, 2012.

## **II. OUTLINE OF THE PROJECT**

Details of the Project are described in the Logical Framework (Project Design Matrix: PDM) (Annex I) and the tentative Plan of Operation (Annex II).

### **1. Title of the Project**

Project for Promoting E-Customs in Vietnam

### **2. Overall Goal**

Trade facilitation in Vietnam is further promoted.

### **3. Project Purpose**

Necessary environment for operating and maintaining VNACCS/VCIS is established.

### **4. Outputs**

- (1) Necessary laws and regulations corresponding to usage of VNACCS/VCIS is established.
- (2) The officials of GDVC acquire necessary knowledge and skills to use VNACCS/VCIS properly.
- (3) Structure to operate, maintain and manage VNACCS/VCIS properly is established and necessary human resource is developed.
- (4) Users in the private sector acquire necessary knowledge and skills to use

VNACCS/VCIS properly.

(5) Proper information security policy and mechanism is established.

#### 5. Activities

As for following activities, counterparts in Vietnam take the initiatives and the Japanese side offers necessary advice and support.

- 1-1. With change of system and custom-house business process, specify relevant laws and regulations which need to be revised
- 1-2. Make draft revisions of relevant laws and regulations
- 1-3. Consult draft revisions with stakeholders
- 2-1. Prepare explanatory materials in accordance with each stage, such as detail design, completion of detail design and running test to customs users
- 2-2. Develop instructors who conduct explanation to customs users
- 2-3. Conduct explanatory meetings for customs users in accordance with each stage such as detail design, completion of detail design and running test
- 2-4. Conduct explanation and consultation to management level including local customs for smooth introduction of VNACCS/VCIS
- 2-5. Develop business processing guidelines for customs users
- 3-1. Examine the detail design in consideration of necessary changes in customs procedures and legal system in Vietnam
- 3-2. Develop the draft roadmap for introducing national single window
- 3-3. Discuss with relevant ministries on introducing national single window
- 3-4. Train the specialized technicians for administration of the system
- 3-5. Establish necessary structure including user's help desk and assigning technicians for administration of the system
- 3-6. Establish necessary structure to plan and implement running test properly
- 3-7. Establish a structure to grasp and solve problems in order to operate, maintain and renew the system properly
- 3-8. Contracting with vendors for operation and maintenance in order to secure proper operation of VNACCS/VCIS
- 3-9. Respond to inquiries and problem handling after the system starts operation
- 3-10. Develop an appropriate Customs ICT master plan to 2020
- 4-1. Prepare documents in accordance with each stage such as detail design, completion of detail design and running test, which are delivered to users in the private sector and banks at an explanatory meeting
- 4-2. Conduct an explanatory meeting for users in the private sector and banks in accordance with each stage such as detail design, completion of detail design and running test
- 4-3. Develop business processing manuals for users in the private sector
- 5-1. Develop necessary information security policy
- 5-2. Develop necessary information security mechanism
- 5-3. Develop information security manual

#### 6. Input

(1) Input by JICA

(a) Dispatch of Experts

Up to three Long-term experts

- Chief adviser /Customs administration
- Operation and maintenance of the system
- Coordinator

Short-term experts (as needed)

- Review of laws and regulations and custom-house business process, IT etc.)

(b) Training

Training of counterpart personnel in Japan and/or the Third Countries

(c) Machinery and Equipment

Necessary and mutually agreed machinery and equipment for the implementation of the Project.

In case of importation, the machinery, equipment and other materials under II-6 (1) (c) above will become the property of GOV upon being delivered C.I.F. (cost, insurance and freight) to the Vietnamese authorities concerned at the ports and/or airports of disembarkation.

(d) Local expenses for the project activities which are not covered by Vietnamese side

- Expense to prepare teaching materials and documents for explanation etc.
- Others (travel expense for experts, transportation cost)

Input other than indicated above will be determined through mutual consultations between JICA and GDVC during the implementation of the Project, as necessary.

(2) Input by GDVC

GDVC will take necessary measures to provide at its own expense:

- (a) Services of GDVC's counterpart personnel and administrative personnel as referred to in II-7 (1);
- (b) Suitable office space with necessary equipment;
- (c) Supply or replacement of machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than the equipment provided by JICA;
- (d) Information as well as support in obtaining medical service;
- (e) Credentials or identification cards;
- (f) Available data (including maps and photographs) and information related to the Project;
- (g) Running expenses necessary for the implementation of the Project;
- (h) Expenses necessary for transportation within Vietnam of the equipment referred to in II-6 (1) as well as for the installation, operation and maintenance thereof; and

- (i) Necessary facilities to the JICA experts for the remittance as well as utilization of the funds introduced into Vietnam from Japan in connection with the implementation of the Project.

## 7. Implementation Structure

The Implementation structure of the Project is given in the Annex III. The roles and assignments of relevant organizations are as follows:

### (1) GDVC

- (a) Project Director: Deputy Director General of GDVC will be responsible for overall administration and implementation of the Project.
- (b) Project Manager: ~~Director of XX~~ will be responsible for managerial and technical matters related to the Project.
- (c) Relevant staff of GDVC will be assigned, as a counterpart Working Group, to be engaged in the daily activities of the Project.

### (2) JICA Experts

The JICA experts will give necessary technical guidance, advice and recommendations to GDVC on any matters pertaining to the implementation of the Project.

### (3) Joint Coordinating Committee

Joint Coordinating Committee (hereinafter referred to as "JCC") will be established in order to facilitate inter-organizational coordination. JCC will be held at least once a year and whenever deems it necessary. JCC will approve an annual work plan, review overall progress, conduct monitoring and evaluation of the Project, and exchange opinions on major issues that arise during the implementation of the Project. A list of proposed members of JCC is shown in the Annex IV.

## 8. Project Site(s) and Beneficiaries

(1) Project Site: Hanoi

(2) Beneficiaries: General Department of Vietnam Customs (GDVC) officials and participants of training

## 9. Duration

The duration of the Project will be three (3) years from April, 2012.

## 10. Reports

Both sides will jointly prepare the following reports in English.

- (1) Progress Report on semiannual basis until the project completion
- (2) Project Completion Report at the time of project completion

## 11. Environmental and Social Considerations

GDVC agreed to abide by 'JICA Guidelines for Environmental and Social Considerations' in order to ensure that appropriate considerations will be made for the environmental and social impacts of the Project.



### **III. UNDERTAKINGS OF GDVC**

#### **1. GDVC will take necessary measures to:**

- (1) ensure that the technologies and knowledge acquired by the Vietnamese nationals as a result of Japanese technical cooperation contributes to the economic and social development of Vietnam, and that the knowledge and experience acquired by the personnel of Vietnam from technical training as well as the equipment provided by JICA will be utilized effectively in the implementation of the Project;
  - (2) grant privileges, exemptions and benefits to the JICA experts referred to in II-6(1) above and their families, which are no less favorable than those granted to experts and members of the missions and their families of third countries or international organizations performing similar missions in Vietnam;
  - (3) provide security-related information as well as measures to ensure the safety of the JICA experts;
  - (4) permit the JICA experts to enter, leave and sojourn in Vietnam for the duration of their assignments therein and exempt them from foreign registration requirements and consular fees;
  - (5) exempt the JICA experts from taxes and any other charges on the equipment, machinery and other material necessary for the implementation of the Project;
  - (6) exempt the JICA experts from income tax and charges of any kind imposed on or in connection with any emoluments or allowances paid to them and/or remitted to them from abroad for their services in connection with the implementation of the Project; and
  - (7) meet taxes and any other charges on the equipment, machinery and other material, referred to in II-7 above, necessary for the implementation of the Project.
2. GDVC will bear claims, if any arises, against the JICA experts resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with, the discharge of their duties in the implementation of the Project, except when such claims arise from gross negligence or willful misconduct on the part of the JICA experts.

### **IV. EVALUATION**

JICA and GDVC will jointly conduct the following evaluations and reviews.

1. Mid-term review at the middle of the cooperation term
2. Terminal evaluation during the last six (6) months of the cooperation term

JICA will conduct the following evaluations and surveys to mainly verify sustainability and impact of the Project and draw lessons. GDVC is required to provide necessary support for them.

1. Ex-post evaluation three (3) years after the project completion, in principle
2. Follow-up surveys on necessity basis

**V. PROMOTION OF PUBLIC SUPPORT**

For the purpose of promoting support for the Project, GDVC will take appropriate measures to make the Project widely known to the people of Vietnam.

**VI. MUTUAL CONSULTATION**

JICA and GDVC will consult each other whenever any major issues arise in the course of Project implementation.

**VII. AMENDMENTS**

The record of discussions may be amended by the minutes of meetings between JICA and GDVC.

The minutes of meetings will be signed by authorized persons of each side who may be different from the signers of the record of discussions.

Annex I	Logical Framework (Project Design Matrix: PDM)
Annex II	Tentative Plan of Operations: PO
Annex III	Implementation Structure of the Project
Annex IV	A List of Proposed Members of Joint Coordinating Committee



**PDM<sub>0</sub> (案)**

プロジェクト名：ベトナム社会主義共和国 通関電子化促進プロジェクト  
 ターゲット・グループ：ベトナム税関総局 (GDVC) 職員及び研修受講者

プロジェクト実施期間：2012年4月1日～2015年3月31日 (3年間)

バージョン：No. 0  
 作成日：2012年2月10日

プロジェクト要約	指標	入手手段	外部条件
<p>上位目標</p> <p>ベトナムにおける貿易円滑化が進展する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 通関所要時間が簡易審査で3分 (申告から許可まで)、書類審査で15分 (書類審査開始から書類審査終了まで) になる。</li> <li>2. 貿易手続きの効率化指標が改善する。</li> <li>3. 複数の省庁がシングル・ウィンドウに参加する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. GDVC 年報、通関所要時間調査、サンプル調査</li> <li>2. 世界銀行統計 (Logistics Performance Index)</li> <li>3. システム運営記録</li> </ol>	
<p>プロジェクト目標</p> <p>VNACCS・VCIS が円滑に稼働・維持管理されるための環境が整備される。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 輸出入申告件数のうち VNACCS を通じた申告件数の割合が X% になる。</li> <li>2. 税関当局に対する税関手続き処理に係るクレームが減少する。</li> <li>3. VNACCS・VCIS が適切に維持管理され、目標の稼働率 99.9% が達成される。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. GDVC 年報</li> <li>2. アンケート調査</li> <li>3. プロジェクト活動報告</li> </ol>	<p>VNACCS・VCIS の運用保守に係る人員・予算が確保される。</p> <p>他の省庁がシングル・ウィンドウ導入のための環境を整備する。</p>
<p>アウトプット</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. VNACCS・VCIS の利用に対応した必要な法規程が整備される。</li> <li>2. 通関担当職員が VNACCS・VCIS を適切に利用するために必要な知識・スキルを獲得する。</li> <li>3. VNACCS・VCIS を適切に運用・維持管理するための体制が整備され、必要な人材が育成される。</li> <li>4. 民間利用者が VNACCS を適切に利用するために必要な知識・スキルを獲得する。</li> <li>5. 適切な情報管理体制が整備される。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1-1. 必要十分な法規程が制定される。</li> <li>2-1. VNACCS・VCIS 利用に係る説明会受講者数が通関担当職員の X% になる。</li> <li>2-2. 通関担当職員向け業務処理ガイドラインが作成される。</li> <li>3-1. VNACCS・VCIS 導入に向けた関係省庁との協議回数。</li> <li>3-2. VNACCS 利用者向けヘルプデスクが整備される。</li> <li>3-3. システム運営・問題処理に係るマニュアル等が整備される。</li> <li>3-4. システムエラーの発生・対応件数。</li> <li>4-1. VNACCS 導入に係る説明に参加した民間利用者が X 社、X 名になる。</li> <li>4-2. VNACCS の概要及び利用方法を理解する民間利用者の割合が X% になる。</li> <li>4-3. 民間利用者向け業務処理マニュアルが作成される。</li> <li>5. 情報管理マニュアルが整備される。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1-1. 法規程</li> <li>2-1. 研修実績報告</li> <li>2-2. アンケート調査</li> <li>2-3. 通関担当職員向け業務処理ガイドライン</li> <li>3-1. プロジェクト活動報告</li> <li>3-2. GDVC 年報 (ヘルプデスクの設備・人員の整備状況)</li> <li>3-3. システム運営・問題処理マニュアル</li> <li>3-4. システム運営記録</li> <li>4-1. 説明会実績報告</li> <li>4-2. アンケート調査、ヘルプデスクへの相談件数、内容の傾向</li> <li>4-3. 民間利用者向け業務処理マニュアル</li> <li>5. 情報管理マニュアル</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ VNACCS・VCIS の開発・導入が計画どおりに行われる。</li> <li>・ VNACCS・VCIS の運用保守に係る人員・予算が確保される。</li> </ul>

<p><b>活動</b>          以下活動については、ベトナム側カウンターパートが主体的に取り組み、日本側は必要な助言・支援を行う。</p> <p>1-1 制度・通関業務プロセス変更に伴って改訂が必要な関係法令・通達等を特定する。</p> <p>1-2 関係法令・通達等の改訂案を作成する。</p> <p>1-3 改訂案を関係機関に説明する。</p> <p>2-1 詳細設計段階、詳細設計確定段階、試験段階等各段階における通関担当職員向け説明資料を作成する。</p> <p>2-2 通関担当職員に対して説明を行う講師を育成する。</p> <p>2-3 詳細設計段階、詳細設計確定段階、試験段階等各段階における通関担当職員向け説明会を実施する。</p> <p>2-4 VNACCS・VCIS のスムーズな導入に向け地方税関署を含む幹部職員に対して説明・理解醸成を行う。</p> <p>2-5 通関担当職員向けの業務処理ガイドラインを作成する。</p> <p>3-1 ベトナムの税関手続き・制度の変更を踏まえつつ、システム詳細設計を審査する。</p> <p>3-2 シングル・ウィンドウ導入に向けた工程表案を作成する。</p> <p>3-3 シングル・ウィンドウ導入に向け、関係省庁と協議する。</p> <p>3-4 VNACCS/VCIS 運用・維持管理担当職員を育成する。</p> <p>3-5 利用者向けヘルプデスクや運用要員等の体制を整備する。</p> <p>3-6 運転試験を適切に行うための計画策定・実施体制の整備を行う。</p> <p>3-7 システムの適切な運用・維持管理・更新のための問題把握・処理体制を整備する。</p> <p>3-8 VNACCS・VCIS の適切な運用・維持管理のための、運用・維持管理ベンダーを調達する。</p> <p>3-9 システム稼働後の問合せや問題処理に対応する。</p> <p>3-10 2020 年に向けた税関分野の IT 活用に係る適切なマスタープランを作成する。</p> <p>4-1 詳細設計段階、詳細設計確定段階、試験段階等各段階における民間利用者・銀行向け説明会資料を作成する。</p> <p>4-2 詳細設計段階、詳細設計確定段階、試験段階等各段階における民間利用者・銀行向け説明会を実施する。</p> <p>4-3 民間利用者向けの業務処理マニュアルを作成する。</p> <p>5-1 情報管理規則を策定する。</p> <p>5-2 情報管理体制を整備する。</p> <p>5-3 情報管理マニュアルを作成する。</p>	<p><b>投入</b></p> <p>日本側</p> <p>1. 専門家          (長期専門家 最大3名)          チーフ・アドバイザー/税関行政システム運用管理業務調整          (短期専門家 必要に応じ)          法規程・通関業務プロセス見直し、IT 等)</p> <p>2. 本邦研修及び/または第三国研修</p> <p>3. 機材供与 (必要に応じて)</p> <p>4. 現地活動費          ・説明要領等教材・資料作成経費          ・その他 (専門家旅費、交通費等)</p> <p>ベトナム側</p> <p>1. 人材          プロジェクト・ディレクター          プロジェクト・マネジャー          カウンターパート WG</p> <p>2. プロジェクト実施に必要な執務室及び施設設備の提供</p> <p>3. 運営・経常経費          ・電気、水道、通信などの経費          ・説明会開催経費          ・その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関連法規定の整備に対し、関係省庁等が反対しない。</li> <li>・ 民間利用者が VNACCS・VCIS の導入に反対しない。</li> <li>・ カウンターパートの人事異動が頻繁に起こらない。</li> </ul>
	<p><b>前提条件</b></p> <p>VNACCS・VCIS 導入に向けた無償資金協力支援が開始される。          VNACCS・VCIS 導入に係るベトナム側負担事項が適切に履行される。</p>	





通関電子化促進プロジェクト  
活動計画表

年 月	2012年												2013年												2014年												2015年		
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
全体の期間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
3-9 システム稼働後の問合せや問題処理に対応する。																																							
3-10 2020年に向けた税関分野のIT活用に係る適切なマスタープランを作成する。																																							
成果4. 民間利用者がVNAACCSを適切に利用するために必要な知識・スキルを獲得する。																																							
4-1 詳細設計段階、詳細設計確定段階、試験段階等各段階における民間利用者・銀行向け説明会資料を作成する。																																							
4-2 詳細設計段階、詳細設計確定段階、試験段階等各段階における民間利用者・銀行向け説明会を実施する。																																							
4-3 民間利用者向けの業務処理マニュアルを作成する。																																							
成果5. 適切な情報管理体制が整備される。																																							
5-1 情報管理規則を策定する。																																							
5-2 情報管理体制を整備する。																																							
5-3 情報管理マニュアルを作成する。																																							

注) 上記で示したプロジェクト開始時期、スケジュールなどは、今後の協議を通して修正される可能性がある。

